

令和4年度 市民と市長のタウンミーティング実績

とき	ところ	参加者		
		合計	男性	女性
5/14（土）10：00	三間公民館	13	8	5
5/14（土）19：00	城南中学校体育館	16	13	3
5/15（日）19：00	城東中学校体育館	20	15	5
5/21（土）13：00	日振島公民館	21	15	6
5/21（土）14：45	戸島本浦集会所	20	18	2
5/21（土）16：20	戸島公民館嘉島分館	15	12	3
5/22（日）10：00	岩松公民館	39	24	15
5/22（日）19：00	遊子小学校体育館	18	15	3
5/28（土）19：00	城北中学校体育館	17	11	6
5/29（日）10：00	吉田公民館	61	43	18
5/29（日）13：30	Zoom会場 ※事前申込制	4	3	1
合計		244	177	67

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
1	三間	1	コロナの状況の中で、今年のGWはイベントが開催された。今後のイベントの見通しは。経済との両立の方針は。	ワクチンの3回目接種がある程度進んでいる。3回目接種が全体で6割程度と認識している。重症化にならない、ワクチン接種が大きいという認識の中、4月以降、工夫しながら感染拡大しないようイベント、会合を進めようとしている。GWには3年ぶりのお城まつりを開催したが、人気のもちまき、プロレスなどのメニューを行わず開催したが、来場者は予想を上回った。今後のイベントとしては、7月のうわじま牛鬼まつりでも各部会で話し合いをしている。かつてのように、マスクを外して牛鬼ができるかどうかも協議しているので、どういう形になるかは実行委員会で協議する。今後もどのような形なら感染拡大しないかを考え、少しでもかつての日常を取り戻すように取り組みたい。	-	保険健康課
2	三間	2	まちを作るの中に、もみの木、島の保健室があった。これらは地域コミュニティが非常に濃ゆいということで採択された経緯があると思う。人と人の関係がまちづくりに大事。秋に総合体育館で卓球大会があるが、過去には三間の国民体育館で行われていたと聞いた。周りから三間でできる施設がないことが残念と聞く。国民体育館はレクバレー、バスケット、卓球、剣道など体育行事が行われているが、老朽化して使い勝手が悪いと聞く。50年経過し、耐震化もされていない。柔道場もタタミやガラスを直していただいたが、建物の寿命が来ると思う。住民のコミュニティ能力を高めるためにも体育施設を何か考えていないか。	卓球大会は歴史のある大会と認識している。施設整備については、体育館がどのような位置付けか、バトンタッチされたときに認識はないが、全体として考える課題である。三間だけでなく、吉田の統廃合後の小学校跡地も含めて、三間の需要もあわせて、総合的に考えていきたい。所管にも伝え、今後どうするか考えていきたい。	三間町国民体育館及び三間柔道場（旧給食センター）は、どちらも昭和40年代に建設された施設であり、これまでも適宜整備、修繕等を重ねてきてはいますが、老朽化が著しい状況であることは理解しています。 どちらも三間地域にとっては必要な施設であり、継続利用されていくものとは思いますが、市全体の人口減少や学校の統廃合等の社会情勢を総合的に鑑み、方向性について検討してまいります。	文化・スポーツ課
3	三間	3	安全を創る。提案、要望として、災害が一番気になる。南海トラフ地震が一番大きい、前回のような豪雨災害、風雨も含めて準備していくことが大事と思う。市は準備していると思うが、災害で家が壊れ、避難所が一番困ることは、食べると思う。各公民館には食事も作れない状況も考えられる。三間のもみの木で炊き出しセットを揃えている。調理場がない場合の炊き出しセットがあっても、三間の公民館にはプロパンガスがない。ほかの公民館は分からないが、女性消防団がそういったことを熱心に考えている。忘年会、防災の防のときに、プロパンガスがないと聞き、借りたが、ガス会社から災害時に貸せるかは分からないと聞いた。	東日本大震災でもオール電化の家庭では何もできなくなったので、あえてエネルギーの分化をしていると聞いた。豪雨災害の発災直後でも、停電で何もできず、プロパンに変えた知人もいる。先日、プロパンガスの発電機の寄贈を受けた。2箇所を設置したが、熱源としてのお話だと思うので、食事をどうするかについても、今後しっかり考えていきたい。	三間公民館は1階第2会議室にガスコンロとガス給湯器が設置しており、平時からLPガスが使える環境となっています。また、その他の公民館についても調理室にガスコンロ等の調理機材を整備して平時から使用可能となっています。また、避難所用の備蓄資機材としてカセットコンロと鍋等の調理機材、50人分の炊飯と汁物の調理が可能な大型炊き出しセットを公民館区等の単位で備蓄しています。  カセットコンロ：91施設、108台 炊き出しステーション：35施設、35台	危機管理課
4	三間	4	伊達博物館について現状を聞かせてほしい。事業費も40億や50億、また、キリン公園がなくなるとも聞いている。	宇和島伊達家のものを耐震化がないところで継続することは厳しいと、平成29年9月の就任前から課題になっていた。建替えの議論が開始したのが平成30年6月で豪雨災害があり、遅れたが基本計画を策定した。議会からも予算措置を受け、隈研吾事務所に設計をお願いしている。これまで4年経過したが、建物完成後の二夏の枯らし期間があるので、早くても令和8年開館予定。6月に基本設計ができれば市民の方に説明したいと考えている。キリン公園については議会での発言もあるが、建替委員会の中で、合意形成をした。第3期都市再生整備事業で今の博物館を壊し、市民の方が公園を利用できるように考えている。建設費はあくまでも試算で、いろんな博物館を研究し、もっと単価が高いところもあるが、一般的な単価と必要面積で税込み40億と算定した。事業費の半分は国の補助で、起債も活用し、全体の15%が宇和島市の手出しになる見込み。今はまだ何も数字がないので、今後基本設計ができれば、説明するので、それまでお待ちいただきたい。	令和3年2月に伊達博物館改築事業基本計画が策定され、新博物館の延床面積は4,000㎡程度で改築事業に取り組んでいます。 現在、隈研吾建築都市設計事務所に設計業務を委託中であり、今後、基本設計の概要についての市民説明会を開催する予定です。 児童公園については、新博物館の工事期間中は、天赦公園東側に移設し、新博物館完成後は現博物館敷地に新設する計画となっております。規模・面積は同程度とする予定です。	文化・スポーツ課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
5	三間	5	伊達博物館の建替えについて、平成31年に愛媛新聞に博物館が動くとの投書があった。当時の広聴事業で市長室で話したが、その時点で公園に動くことが決定したような話であった。その後、会を作り、200数名の署名を市長と伊達博物館に提出したが、何も返事がなかった。前館長に話したら、前の館長が建替え委員会にいる間には、今の場所に建替えと聞いていたが、話が変わったので委員をやめたと聞いた。ほかの博物館では、展示物を市に寄贈を受け、展示しているのがほとんどであるが、宇和島市はそうではない。あの場所に博物館を建てることは考え直してほしい。また、子どもが遊んでいるところで工事しているのは危ないので注意してほしい。前市長からも1,000万円を毎年支出しているが、何も報告はなかったと聞いている。前市長は賃借料と思っていたが、議員からは修理費と聞いた。また、伊達博物館に聞くと入館料の半分が伊達家に払っていると聞いた。	市長室に来られたことは覚えています。預けるのにお金がかかることのみを理由として伝えていない。私の伝え方が悪かったかもしれない。 前館長が建替委員会をやめられたのは場所が変わったからではないと思うので、もう一度確認された方がいいと思う。公園は街中で広いスペースはないが、もともとはテニスコートで、伊達家の相続の中で、公園になり、かつての宇和島市の議会答弁でもあの場所に設置すると方向性を示している。費用や風景などを含め建替委員会の中で検討してきた。地盤工事の業者の件は、改めて業者に話をしておく。1,000万や入館料は前市長の前からと聞いたが、確認してお答えする。	1,000万円の支出については、伊達文化保存会が所有している文化財や史料を伊達博物館での「展示ができるよう、修理・修繕のための補助金」であり、1,000万円を上限としているものであります。 入館料収入の半分を伊達家に支払っているという件については、伊達文化保存会職員が、伊達博物館の展示のために行う、蔵出し、検品及び収納作業に対する謝礼金として、上限を250万円として支払っているものであります。	文化・スポーツ課
6	三間	6	博物館の建替えに反対ではなく、公園でないことに建ててほしい。もともと、伊達家が相続で物納し、宇和島市が公園にするのにもお金がかかっていると思う。トイレ整備にも十分かかっている。伊達家の土地を宅地並みの価格で購入したのはなぜか、あそこは公園にしか使えない。不動産屋からは近隣の土地の半額程度で坪10万程度と聞いた。そこまで伊達家に配慮しないといけないのか。	全体を管理する中で個人の土地があってもいいのかという問題もあり、価格については第三者の評価で決めている。国の事業も活用し、負担が少ないように考えている。伊達家に配慮という考えはない。	(文化・スポーツ課) 天赦公園での移転については、建替委員会での議論、市議会へ説明、パブリックコメントや市民説明会などを経て決定したものであり、ご理解をいただきたいと思います。 (都市整備課) 当該土地購入については、公園は可能な限り市の所有地であるのが望ましいこと、国の補助金等が充てられるこのタイミングでの購入が市の財政的にも非常に有利であることから購入することとなったものです。また、購入金額につきましては、当該土地が公園内であるという事情だけでは無く、さまざまな要素を検討したうえ、専門家による土地鑑定により決定されたものです。	文化・スポーツ課、都市整備課
7	三間	7	伊達家の土地は残すと聞いている。塀に囲まれた閉鎖的な公園になると気にしている。	公園については、第3期都市再生整備事業の計画で検討する。	児童公園の整備計画検討にあたっては、児童生徒や近隣の皆さま等、さまざまな方の意見をお聞きしながら、楽しくかつ安心安全な公園となるよう努めます。	都市整備課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
8	三間	8	三間町内に病院がなく、救急車に頼らざるを得ない。鬼北と宇和島に分かれるが、山の奥は到着に時間がかかる。救命に影響する心臓が止まり15分を超える可能性があるかと心配している。津島の南も時間がかかるので検討していただきたい。	救急車の15分は三間だけでなく、なかなか間に合っていないと思う。消防がどう考えているのか。離島はヘリを考えているが、到底15分でないので、考えを確認してお答えしたい。	消防本部から下記のとおり回答がありました。 消防署所の設置及び救急自動車の配備は、国の定めた「消防力の整備指針」に準拠。 国の定める署所数では2署所、救急自動車は6台となる。しかし、管内の広大な面積及び行政バランス等を考慮し4署所（宇和島、吉田、津島、鬼北）を設置し、救急車7台（宇和島3台、吉田1台、津島1台、鬼北2台）を配備。 現在、三間町での事案に対しては、できる限り早く対応できるよう2署所（宇和島、鬼北）で補い対応中。 ご指摘のとおり、三間町宮野下までの現場到着時間は、覚知（119入電）から約15分だが、管内の周辺地区では30分以上かかる地域や離島が存在し、中には現場到着までに1時間以上を要する事例もあるなど、地域住民の皆様から満足いただける救急体制でないことは否めない。しかし、昨今の高規格道路等の整備により、現場到着時間の短縮が図られている。また、日中に限られているが、重症者に対しては、ドクターヘリの積極的な活用等で医師の現場投入や医療機関への迅速な搬送に繋がっている。 さらに、救急隊到着までの空白時間は全国的な課題となっていることから、救命効果の一層の向上を図るため、住民に対する救命手当の普及として、定期的に救命講習会を開催しており、一人でも多くの方に応急手当を修得していただき救命率の向上に努めている。 このことは、過去にも消防にご意見をいただいた内容であり、三間町やその他遠隔地の皆様の不安なお気持ちは充分理解しているところであるが、消防職員が常駐し救急車を配備した署所の増設となると、莫大な経費（増員に伴う人件費、車両購入費、資機材・施設整備費等）が必要なうえ、行政バランスを考慮する必要もあるところ。 また、現在、老朽化と津波被害等の回避から検討が進められている消防本部及び消防署機能の移転等についても、あらゆる角度から、最善策を構築していかなくてはならないと考えている。 以上のような事情をご理解いただき、今後とも消防行政についてご支援とご協力をお願いしたい。 参考まで、近年の三間町における救急出場件数をお知らせします。 令和2年中：249件（管内全出場件数（4,363件）の5.71%） 令和3年中：285件（管内全出場件数（4,548件）の6.27%）	消防本部
9	三間	9	成妙保育所の利用について、子どもたちの利用も考えられている。担当課と相談しているが、なかなか難しい事情がある。学校統廃合や県立学校のことも含めて考えていかないといけないと思う。方針が分かれば、教えてほしい。	成妙保育園については、産業や地域拠点での話を聞く。廃校での活用を整理するように担当には伝えている。今後、しっかり示せるようにしたい。	（こども家庭課） 市の廃園（廃校）施設の利用については、「宇和島市廃校施設利活用のための基本方針（令和2年3月策定）」に基づき、「地域による活用」を最優先とし、続いて「公共的団体等による活用」、「民間事業所等による活用」「除却（売却）等の実施」の順序で検討することとしています。 今後、まずは地域の意向を優先し、施設の機能維持や効率的・効果的な管理、利用状況といったマネジメントの観点と地域経済発展などの視点から、市民全体の利益に繋がるよう慎重に検討を進めてまいります。 今後、状況に進展があった場合には、地域の皆さまにもお知らせしたいと考えています。	こども家庭課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
10	三間	10	学校の行事、運動会、修学旅行の開催有無。通学路の安全確認は。	各学校で判断しているが、今のところ実施すると聞いている。感染防止を考慮して実施していくと思う。通学路の再点検はどのような点検をしたか、どのような予定かは再確認する。	(学校教育課) 学校行事、運動会、修学旅行につきましては、5月25日時点では感染防止対策を徹底した上で実施予定としています。 (教育総務課) 通学路の安全点検については、教育委員会において、昨年7月に各校から危険箇所リストの提出を求め、そのリストを基に、道路管理者や警察署等の関係機関に対応の依頼を行ってきました。 令和3年度中に対応いただいている箇所も多いですが、対応が完了していない箇所については、引き続き対応を要望しているところです。 令和4年度においても、夏頃を目的に、各校に対して危険箇所の調査を行う予定ですが、個別の連絡や緊急対応が必要な箇所については、これまで同様、関係機関と連携して、その都度対応いたしますので、お気づきの点がありましたら、教育総務課までご連絡ください。	学校教育課、 教育総務課
11	城南	1	選ばれるまちはどのようなものなのか。基本的な考えをもう少し具体的に中心になる考えを教えてください。 産業を創るで、南予は第一次産業、第二次産業が中心であるが、観光事業制度を整え、もう少し観光に力を入れることが宇和島の将来の中心になり、全国からたくさんの観光客が訪れ、経済の底上げができる。力強い宇和島を作ってほしい。 人を創るで、環太平洋短期大学をなくしてしまった。教育が1つの原点と思う。今後の宇和島にとって大事なことと思う。	人口減少問題にどう挑むかで選ばれるまちという表現をした。今の段階で検討していることを6つの創るで表している。 いろんな考えがある中で、6つの要素のバランスをとる。いろんなことが追加されていくものだと思う。第一次産業だけではないことはまさにその通り。ただ第一次産業は生産者のみならず、商社や運送、金融など数多くの方が関わる上、象徴的な産物を創っていることとお話しさせていただいた。伊達博物館も伊達文化を残すほか、人に来ていただくきっかけになる施設であり、観光についても力を入れていく。 環太平洋短期大学は身の丈にあった運営を考えた中で、就任早々に断念させていただいた。子どもたちが多くの価値観に触れるようホリバタ事業など取り組んでいきたい。	(商工観光課) 姉妹都市との観光交流の強化に向けて、これまでの産品交流に限らず、観光交流面におけるプロモーション活動に取り組みたいと考えています。 伊達家の繋がりをもつ姉妹都市との連携を通じて、観光情報の発信、観光誘客、人的交流を促進することで、地域経済の持続的な発展に寄与してまいります。	商工観光課、 企画課
12	城南	2	第3の柱。たくさんの偉人がでている。行政の中で重きを置き、公民館活動で先人の偉業を取り組み、市民に勉強するためにもっと費やしていただきたい。伊達博物館でも3,000名以上が反対をしている。市議会や行政で十分に協議がされていないと感じている。この事業は50年100年の大きな文化事業の一つ。関係者は人生をかける意気込みで取り組み、しっかりしたものを創ることが後世に残る施設になると思う。署名活動もあるので、官民一体となって進めていただきたい。	宇和島出身での偉人は多い。伊達博物館が中心的な役割を担うと思っている。平成30年6月から建替え委員会を始めた。災害により進めることができなかった時期もあったが、議論を重ね、市民説明会なども開催してきた。先日のワークショップでも話したが、建てた後がまさにスタート。これからも歴史・文化には力を入れるが、その象徴的な施設になるので丁寧に取り組んでいきたい。	新博物館では、宇和島伊達家だけではなく、宇和島市の多様で豊かな自然や歴史文化について、市民や来館者の皆さんと共に保全・継承し、その魅力を広く発信し、基本理念である「地域の歴史文化の再生、共創の象徴となるべき博物館」「新しいまちづくりと景観の美しさの象徴とるべき博物館」を実現できるように取り組んでいくこととしています。	文化・スポーツ課
13	城南	3	宇和島に来て1年半くらい。天赦グラウンドに博物館移転が進んでいると聞いている。グラウンド利用者、博物館の来場者は年間どの程度か。グラウンドは多い日は40人、少なくとも10人くらい、おそらく年1万人くらいは利用している。それに対して博物館は大型バスが停まっているのを見たことがない。どの程度の人がかかることを見通しているか。	公園は多くの世代が利用しており、時間を問わず多くがウォーキングしているのは事実。伊達博物館は耐震化をどうするかがスタートであった。就任し、早めに決着をつけるよう民間を含め建替え委員会を設置した。第3期都市再生整備事業の工事で現在の伊達博物館の場所を公園にする考えでいる。博物館の規模等は基本計画があり、基本設計をしている。来場者がどのくらいということはないが、より多くの人に来ていただく、観光の要になると思っているので、進化させていきたい。	入館者の目標は、年間50,000人を見込んでいます。 ※最近(コロナ感染拡大前)の宇和島城天守への入館者を参考としています。 (過去の入館者数) 平成29年 17,413人 平成30年 14,521人 平成31年 10,770人 令和2年 6,343人 令和3年 6,162人	文化・スポーツ課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
14	城南	4	伊達博物館の来場者は年何人か。年何人もわからず、どう進化させるのか。天赦公園に建てることはない。また、資材高騰と維持費がすごくなる。維持費、人件費、来場者の収入はどうか。払っていくのは子どもたち、それでいいのか。	(事務局) 後日、タウンミーティングの結果としてホームページなどでお知らせします。	(文化・スポーツ課) 入館者の目標は、年間50,000人を見込んでいます。 ※最近(コロナ感染拡大前)の宇和島城天守への入館者を参考としています。 (過去の入館者数は前述のとおり) (入館料) 平成29年 5,572,000円 平成30年 4,085,200円 平成31年 3,318,100円 令和2年 1,558,060円 令和3年 1,619,520円  維持費及び人件費について、近年における博物館費は7,000万円程度で推移しています。 維持費(企画展示費含)・・・約4,000万円 人件費・・・約3,000万円  (財政課) 建設費に対する負担については、これまでの行財政改革の成果等により、財政健全化法に定める各指標は、概ね堅調に推移しています。将来に過重な負担にならないよう努めてまいります。	文化・スポーツ課、財政課
15	城南	5	うしおにストリーートのクスノキ、イチヨウがほったらかしになっている。客観的に街のデザインを、外部から人を招いてきちんと練って、面として街を考えていただきたい。また、そういう場をたくさん設けてほしい。	市民や業者に清掃していただいている。街のデザインはできていないことは間違いない。今後、どうしていくかはしっかり頭に入れていきたい。	うしおにストリートは、美しいまちづくりとして、南予文化会館前の街路を昭和62年度にタイル舗装や植樹樹等整備しています。イチヨウは近隣住民の方からの苦情により強剪定をしているが、クスノキは自然樹形を生かしつつ、通行に支障がないよう管理をしています。クスノキが成長し、植樹樹に影響を与えており、今後改修が必要と考えています。	都市整備課
16	城南	6	城山の南の方から天守閣に至る登山道が整備されていない。大きな亀裂があるし、石段もいびつになり、舗装も剥げている。崩落したまま放置されている。城山の樹木にネームプレートを付けていたが、最近見えなくなった。大きな宇和島の観光資源の1つなので、もう少し整備してほしい。観光客からも私の耳に入っている。博物館と城山は一体として考え、博物館にお金をいれるなら、城山にも力を入れてほしい。森林浴の意味でも、森の中に散策道を作っていただきたい。	城山については、いろいろ指摘があることは承知している。根本的に整備をという話の中で、城山の整備をするときは文化庁に整備計画を出し、どれだけ盛り込めるかにかかっていると思う。石垣については、どういったことになっているか確認し、しっかり検討していきたい。先日、文化庁に行き、伊達博、岩松、吉田、城山と対応しているので、文化庁の意見を踏まえていくことはしっかりしていきたい。森林浴については、山を自由に切り開くことが厳しいこと、がけ崩れの危険性もあるので、できることをして整備していきたい。	現在城山(史跡宇和島城)の整備基本計画を作成中であり、その中に登城道整備を盛り込むよう検討しています。整備基本計画策定後に順次実施していく予定です。 城郭としての価値をご理解いただくための整備が基本となりますが、石垣などの遺構を見学するための整備に付随して、森林浴等自然に親しめるような当時の城道の活用も検討し、市民の皆さんはもとより幅広い皆様の利便性の向上に努めてまいります。	文化・スポーツ課
17	城南	7	城山の重要文化財指定は天守閣か山全体か。市民が植栽していることもある。また、北側の舗装は整備されているが、南側は整備されていない。	山全体です。文化庁に計画を話しながらになる。植林のことは、そのことは聞いていないので、確認してみる。	建物などの形あるものを文化財とする場合は「重要文化財」、遺跡や城などの土地の場合は「史跡」という種類となり、山全体が史跡、天守のみが重要文化財となります。分類が異なるだけで、いずれも国指定で価値は同一となります。 植栽については、市と協議しながらボランティア団体が主体となって実施されていましたが、現在これらの活動は一旦休止されています。 南側の整備は今後の整備基本計画に組み入れ実施できるよう検討してまいります。	文化・スポーツ課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
18	城南	8	私も人口減少問題が一番と思う。4万人をきることを前提とした施策はしていった方がいいと思う。海面養殖、柑橘、伊達文化で子どもたちが戻るまちにしてほしい。	年1,200名程度減少していると認識している。これからのまちづくりを考え、都市再生整備事業でなるべくコンパクトにし、周辺でもネットワークを構築した上で、住めるようにこれからも進めていきたい。移住にも力を入れないといけないが、現に暮らす子どもたちにどう関わるかも大切で、様々な事業をスタートしている。ご指摘を頭に入れしっかりとしていきたい。	-	企画課
19	城南	9	災害時の要支援者と支援者について、危機管理課に支援者はどのような人が聞いたが、福祉課に聞くように言われたが、福祉課でも納得のいく回答はなかった。支援者は災害時にどのような支援をすればいいのか。防災士の会の幹部に聞くと、声掛けをするように言われた。声掛けをして、自分は避難して助かった、要支援者は亡くなると、心の負担、トラウマになる。具体的に防災士がどのような支援をするかガイドラインを示すように危機管理課に話したが、福祉課にということであった。	冒頭でも話したが、豪雨災害を経験して行政が全て手が届かなく、共助で地域の力を借りないといけないと痛感した。要支援者はまずは声掛けからであろうと思うが、理想と現場の話であると思う。整理、検討をもう一度させていただければと思う。	(危機管理課) 内閣府の避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針によると、支援者については、地域における関係者を決定することとされており、その際、必ずしも災害対策基本法で例示している消防機関、都道府県警察、民生委員、市町村社会福祉協議会、自主防災組織に限定して考える必要はなく、地域に根差した幅広い団体の中から、地域の実情により、避難支援者を定めること。また、避難支援等関係者となりうる者をより多く確保するのに当たっては、年齢等にとらわれず、地域住民の協力を幅広く得ること。とされています。	危機管理課、福祉課
20	城南	10	先日の会合で防災士と民生委員で話し合いをした。防災士と民生委員はどちらが主で従と話したが、その答えはなかった。後日、市の担当から防災士が主と答えがあったが、その根拠には答えがない。民生委員は準公務員で防災士は資格のみ。 災害対策基本法では市民の生命、財産は行政が守っているのではない。南海トラフでは、電柱が倒れ、人命救助にならないことは分かっている。防災士が地域の人を助けることは理解しているが、どのような方法を教えてほしい。	民生委員は平時から地域の福祉やケアで力添えをいただいている。緊急時にどうするかは、定義や裏付けをこの場で答えられない。一度整理したいと思う。災害対策基本法ではそうですが、民生委員がその中でどういう立ち位置か検証しないといけない。また後日お答えする。	(危機管理課) 避難行動要支援者について災害時の避難支援等を実効性のあるものにするためには、個別避難計画の作成促進が重要と考えられ、市区町村が策定の主体となり、関係者と連携して策定する必要があります。そこで、市では、宇和島市防災士連絡会と個別避難計画の作成支援等に関して業務委託契約を締結し計画の作成促進を支援しており、民生委員や自主防災組織、自治会など地域の皆さんの協力をお願いしているもので、防災士や民生委員自身が避難行動要支援者の避難を支援することではなく、具体的には、近隣の住人などに避難支援の協力を求めて、個別避難計画を策定するものと考えています。	危機管理課、福祉課
21	城東	1	5日に隈研吾を招いたワークショップに参加した。伊達博は、報道にあるように建替え場所に天赦公園をのけてほしいということがある。市長も隈研吾さんも知っていると思うが、その時は何も触れなかった。どうしてか。市長はいつも対話と言っているし、隈氏はストーリーが大切と言っていた。 ワークショップで開催予定と思ったが、パネルディスカッションになっていた。できれば、ワークショップは計画が柔らかいうちにすると、市民も、隈研吾事務所側もメリットが大きいと思う。ワークショップ形式でなかったのはどうしてか。	5日の件は市と事務所が共催で実施している。もともとパネルディスカッションをやる予定であったのを、お城まつりにあわせて実施したのも、隈研吾さんが宇和島を語る中で開催すると提案であったので、冒頭で隈氏が話し、パネルディスカッションとなった。資料も隈研吾事務所が作成し、今回のテーマではご指摘の件は触れる内容ではなかったのだと思う。今後は基本設計が6月に完成する後で、説明会がなされると思っている。	基本計画の市民説明会を今後開催する予定です。 それに加え、建築設計業務の基本設計が完成後、隈研吾建築都市設計事務所が、展示設計業務についても丹青社が主体となって、別途広く市民を対象としたワークショップを開催する予定としています。	文化・スポーツ課
22	城東	2	宇和島の魅力はやはり第一次産業と思う。アコヤガイへい死の原因に対するワクチン開発や何らかの手当を早急にしないといけない。また、やはりブランド力はすごいと思う。就職当時には今治のタオル産業が無くなりそうであったが、今はブランド力で3倍近く高く売れる。宇和島も真珠日本一を維持できるように。ミカンなど第一次産業の立て直しとブランドが無くならないように。	魚類養殖は厳しい2年であったが、外食が再開し、損益分岐点には届かないが、徐々に良くなってきた。民間だけでなく、行政が関わりと信用が高まると聞くので、ぜひ後押ししていきたい。一方、柑橘は価格が安定している。今後も、農地再編整備や新規就農者を含め積極的に支援しているところ。真珠は3年前から大量へい死が続いており、今年になってウイルスが原因と分かった。抗生物質を考えても、貝は特効薬を作ることが難しく、強い新種を作り、避難漁場に持っていき、少し規模の大きい実証実験をしているところ。また、基幹産業であるので、農林水産省にも何度も足を運んでいる。今後も力を入れていきたい。	-	市長公室、農林課、水産課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
23	城東	3	水産センターに行ったことはあるが、あれだけのスタッフではなかなか十分な対応ができないと思う。今治の獣医学部と比較するわけでないが、市長に大学を誘致する考えはないか。今の水産高校で更に勉強したい人、今回のような県レベルで対応できない研究に対応できるための大学。全国から若者が来るし、宿も交通も利用され、1つの教育の場として重要。 また、宇和島は3つ中学校があるが、ヤングケアラーで能力が生かせない人には無償で奨学金を与えることをぜひ考えてほしい。	大学の話では、一般系の大学は少子化で生き残れないということも全国的に考えられている。教育は、経営を考え、持続可能なものでないといけないと考えているが、基幹産業の水産なので1つの可能性はあると思う。しかし、水産高では専科コースがあるが、人数確保がなかなかの状況にある。今後も県とも話していきたい。 ヤングケアラーは議会でも取り上げられ、自治会長や民生委員もなかなか発見しにくいと聞いている。どうするかも含めて、ここは力を入れていきたい。	(こども家庭課) ヤングケアラーの問題は、本人に自覚がない場合も多く表面化しにくい構造にあることから、周囲が子どもの置かれた状況に気づき必要な支援に繋がるきっかけを作ることが重要であります。市としても、多様な状況に置かれている子どもたちを早期に発見し適切な支援を提供できるよう、ヤングケアラーの理解促進と認知度向上に取り組み、相談窓口の周知を図りつつ、関係機関との情報共有など連携強化に努めてまいります。 また、家庭の経済状況に関わらず、希望する進路選択ができるように、相談対応の中で、国の高等教育就学支援制度(授業料等減免・給付型奨学金)などの情報提供を行っています。	企画課、こども家庭課
24	城東	4	小学校の学校教育活動支援員を2020年からしている。 20歳の娘がいる。大学で離れて戻ってきたが、そのころと明らかに違うのが、貧困、格差の問題。報道でもあるが、他所事ではない。前の学校では発達障害、知的障害と特別支援学級で支援していたが、障がいのある子どもと家庭の経済状態がともリンクしている。親の経済状態が報われない、親ガチャという言葉があるが、宇和島でもある。教師には、どの校区でもそのような状態はあると確かめている。そういう問題は何かを解決したらいいのか、親の貧困を取り除けばいいかもしれない。しかし、宇和島の貧困の問題は、配布資料には書かれていない。貧困対策はどう考えているか。 宇和島市の教育振興基本計画を今年4月に発表されている。令和10年度までと期間が長い。計画に特別支援教育の充実とあり、学校教育活動支援の事業もあるが、稼働時間数が明らかに減っていく。1年単位の契約であるが、希望時間を学校に提出しても、希望よりほとんど減っている。新学期になると、時間が減り、去年までついていた子に今年についてはいけない状況。計画には充実とあるが、実際には支援を受けられない時間が増えている。教育長に聞いた方がいいかと思っただけ、ぜひ伝えて、現場に理由を教えてください。今後どうされる予定か聞きたい。	貧困については、準要保護で他市町より数値は高く上げている。ただ、現実の貧困家庭が子どもが苦労している現実には十分には分かっていないので、教育委員会に十分把握するよう伝える。また、発達支援センターを給食センター跡地に建設予定であるので、学校生活のプラスになるように考えている。 教育振興計画の記載と現場については、教育委員会には子どものためなら予算は確保すると伝えている。現場の声として話を受けたので、早急に明日にも教育委員会に伝える。	支援員の配置は、学校からの希望を基に市教育委員会で学校間の格差がないように調整しています。特別支援教育の充実のためには、学級担任や授業者の「特別支援教育の専門性」や「個に応じた指導の実践力」を上げることが一番だと考え、支援員による支援が少なくとも、学級担任・授業者の支援と友達力を借りることで、力を発揮することができるようになることを目指しています。また、過剰な支援は児童生徒のためにならないため、必要な時間に支援員が配置できるよう各校に配置の工夫をお願いしています。 (個別に連絡対応済み)	学校教育課
25	城東	5	市から国交省に対してお願いしてほしい。国道を通ると、高知県は整備されていて雑草が目立たないが、宇和島は雑草が伸びており学生や地元も困っている。 城東中学校のプールは30年近く経っている。過去に物が投げ込まれ、水を全て代えたこともある。プール建設の計画があれば教えてください。	国交省の管轄になるので、意見を伝えていきたい。市道も同じように管理が行き届いていない部分があると思う。 城東中学校のプールは子どもが減る中でどう施設整備をしていくか考えていけない。意見は今後の参考にさせていただく。	(教育総務課) 城東中学校プールについては、昭和47年建築であり50年が経過するところ。  ○プール本体：25m×16m=400㎡(コンクリート造) ○プール付属棟：92㎡(鉄骨その他造)  これまで学校プールは、建築後50年前後で老朽化が著しい学校の順に改築を行ってきたところですが、統廃合の検討状況も含め、今後は学校外プールの利用等も踏まえつつ、学校現場等とも詳細な検討を行ってまいります。	建設課、教育総務課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
26	城東	6	認知症検査の助成制度は具体的にどのような制度、仕組みか。	1万円を上限に検査料を助成する制度設計であったと思う。分かりやすく皆さんにご案内する。また、施設にも周知されるものと思う。	認知症は、早い段階で発見できれば進行を遅らせることができ、良好な状態を保つことが可能であることから、認知症検査場制度の創設により、認知症の早期発見・受診に繋げ、高齢者自身の穏やかな生活の提供・介護者の負担軽減を図るものです。 【対象者】認知症チェックシート(DASC-21(ダスカ21))で認知症の疑いがあると判定される者。 【助成内容】認知症検査費用(初・再診料、画像診断料、その他検査料)のうち、10,000円を上限。 【助成の流れ】①包括が認知症チェックシートで認知症疑いを判定、②受診勧奨、③医療機関で受診、④認知症検査費助成金の申請、⑤検査費の助成(領収書による償還払) 制度の創設は、医師会・認知症施策推進部会での協議・調整等を行い、9月開始予定として進めています。	高齢者福祉課
27	城東	7	まちづくりの前に人づくりがないといけない。宇和島のいいところを聞かれても、何かと思う。コロナや災害でそれぞれ痛みがある。人づくりに教育や子どもたちに宇和島のことを伝える仕組みを細かくする。その中に農業や真珠なども。これからも人が減っていくので、行政が何かができるか、市民側も聞く気がないと入らない。行政職員は誰でも説明できる仕組みをしてもらえればと思う。 博物館は賛成反対ではないが、重要文化財を残すことは市民としてありがたいが、どういう風に説明するかなどの配慮をしっかりともらえればと思う。市長の人柄は良いと思うが、きちんとした説明と判断をしてもらえればと思う。	まちの前に人をいかに作るかということで、ホリバタで産業や文化を子どもたちにどう伝えていくかの事業を実施している。丁寧に説明するのは職員として当然であるし、私についてもヒントをいただいたので、今後についてもしっかりしていきたい。	(総務課) 職員研修やボランティアへの参加等を通じて、宇和島の文化や基幹産業である農林水産業に直接触れる機会を増やすことで、宇和島について説明をできる職員の育成に努めてまいります。  (文化・スポーツ課) 宇和島伊達文化保存会は重要文化財を所有しており、宇和島にとっては貴重な文化財や資料を保存・展示することは非常に有意義だと認識しています。その文化財をうまく活用し、この貴重な文化財をまちづくり・人づくりに繋げてまいりたいと考えております。また、丁寧な説明にも努め、ご理解をいただけるような進め方をしていきたいと考えています。	総務課(職員研修)、文化・スポーツ課
28	城東	8	今の話で双方向でまちづくり、人づくりをと言ってもらったが、まちづくり指針の改定とあるが、2、3年前にガイドラインがあることは知った。そのときに、条例としてもっと知られるようになればと思う。今回、やっとまちづくり指針にスポットライトが当たったと思う。指針の改定についてどう考えているか、条例にすることはどうか。	市議時代から子どもたちの教育、担い手をどう作っているかを考えてきた。その後、市としての大きな転機として、豪雨災害があった。自助、共助の重要性を認識し、行政の手の届きにくい部分を民間の方々がしてくれた。現在のまちづくり指針では、ふわっとしたことを書いている。条例までは考えていないが、各団体の意見を聞き、担当でスケジュールも考えているので、早い時期に素案を示すなど丁寧にやっていきたい。	—	市民課
29	城東	9	タウンミーティングは初めてで、たまたま友人からフェイスブックで教えてもらった。もう少しいろいろ市から発信し、私たちの意見を吸い上げ、市長との対話をしてもらえればと思う。学校でしているので、学生も参加すれば、市長と話す機会がないので、もっといろんな事業で市民を巻き込めばいいと思う。	情報発信については、なぜもう少し広くできないか。いろいろしても結果として届いていないこともあるので、これからも努力を重ねていきたい。いろんな方の意見を聞き、市政に反映したいという思いでしている。また、高校生まちづくり課などもしているが、学校が許すのであれば、貴重な意見として考えていきたい。	(学校教育課) 今回のタウンミーティングでは、その目的や中学生も参加できることなどを、学校を通して生徒に周知してまいります。	市長公室(広報、広聴)、学校教育課
30	城東	10	観光の再構築で海ごみ対策を上げていることに感謝。先日も報道で宇和海の海ごみが多いと聞き、市からの補助も出る聞いた。ボランティアだけでは足りず、漁業者がかかわらないといけない。意識の変革に力を注いでいると思うが、その先として産廃ごみを何かの材料で出すことができなにか調べているが、産業として成り立っているものはない。産業として成り立つことも可能性としてあると思うのでぜひ検討を。	環境への意識の高まりの中、宇和島市の海の状況は厳しい。環境条例は今さらであるが、昨年には、環境計画も策定した。市民だけでなく、漁業者にも漁協に通じ、一定の取り組みをすることとしている。また、集まったものを埋めるだけではまた環境破壊になる。リサイクルは事業として確立されていないが、莫大な施設整備費用が掛かることもあるが、ある程度の支出はやむを得ないと考えている。継続するにはボランティアではなく、環境省補助などで事業化が一番と思う。リサイクルについては大きな宿題と思う。	—	生活環境課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
31	日振島	1	島しょ部の医療提供体制をどう思っているか確認したい。診療所の医師が日振島に来たときは前任がやめ、医療広告で募集があった。今の医師は日振島と蔦淵だけ。担当課に言っても、遊子は10年以上募集していない。戸島の医師が辞めるときは事前に辞表を出していたが、まだ契約が続いているので、募集していないという状況であった。ホームページの職員募集でもずっと医師募集が掲載されていない状況が続き、3月末に担当に話し、一ヶ月で掲載するとあったが、5月の連休明けになった。緊急時はドクヘリというが、昼間のみ。船も漁協の船で搬送しているが、不在でできないときもある。日常的な医療体制をどう考えているか。	24時間の医療体制確保は大きな課題。昼間の体制としては、ドクヘリも1つの方法。緊急ではない、薬については、島から出ることなく、医療機関とコンタクトを取り、受け取る仕組みを考えている。医師不在だけを理由にはできないので、離島だけでなく、処方箋のためだけに時間をかけて通院している人を何とかしたい。これからも戸島、嘉島の医療体制の確保は取り組む。時間がかかっていることは申し訳ないと思う。重く受け止め、担当課とも十分協議していきたい。	(保険健康課) 島しょ部の医療体制については、医師の確保が最も重要と考えています。令和3年11月から、市ホームページ職員募集ページや、愛媛ドクターバンクなど、複数の媒体で医師募集の登録をしていますが、問合せ等は少ないのが現状です。今後も、求職医師の情報収集に努めてまいります。	保険健康課、 高齢者福祉課
32	日振島	2	運動場にイノシシが侵入することを、子どもたちにとって、良いことか悪いことか。資料が残っている平成26年度の自治会陳情で門扉設置をお願いしている。これはどういう理由で放置されているか。 過去にプールの水位が水漏れで利用できないことがあり、過去2年間は満水でない状態で利用していたことがあった。校長が教育委員会に伝えたときに聞いた話では、他の学校では水漏れがあるが、出っぱなしで対応しているところもあるので、そちらを修繕しないといけないと聞いた。簡易水道ということもあるかもしれないが、漏水で満水にならないところと、そうでないところの修理についてはどう思うか。 プールは昨年直してもらった。しかし、教育委員会に対して、日振島小学校をあまりにも甘く見ているのでは無いかと思う。	良くない状況と認識している。教育委員会で優先順位を決め、対応していると認識している。イノシシに関する要望は重く受け止め、教育委員会に私の方から伝えたい。 私もプールの漏水修繕の経緯と日振島との違いを聞きたい。 また、全体の話として、なかなか職員が現場を確認することも遅いと聞いている。日程調整もできていないと今日分かったので、しっかりと対応するようにしたい。	(教育総務課) イノシシ防護については、学校側と調整のうえ、運動場の山側にフェンス(H31年1月)を整備しています。その後、イノシシ対策として、校長室横の門扉・運動場ネットの修繕、運動場海側にカーテン式ネットを市教委から設置提案をし、門扉・ネットはH31年12月に整理しています。なお、カーテン式ネットは運用上、車の出入りに支障が生じるため、その後、山側フェンスを移動し、様子を見ることとしておりました。 また、その後も門扉を設置する予定で、現在学校側と調整中であり、プールの漏水修繕に関しても、地元業者で現地調査をしましたが、対応できなかったため、県外メーカーへ依頼し、その調整により期間を要した経緯があります。 いずれにせよ、学校側とのコミュニケーション不足が否めない状況であったかと思しますので、今後は学校側とより連携し対応していきたいと考えています。	教育総務課、 総務課(離島への出張)
33	日振島	3	中学生の子どもを持つ親として、はまゆう寮をはじめ、子どもたちの学校生活の支援に感謝している。1つだけ悩みがあるとすれば、部活動の大会は、現地集合、解散が基本で、親が連れて行くので定期船代がかかってしまう。子どものことで親が出すことは当たり前であるが、部活によって回数が違い、4,160円とホテル代になると痛い出費というか、少しもやっとしてしまう。金額とは言わないが少しでも援助してもらえれば助かる。小学生も6名いるので、その親の悩みも無くしてもらいたい。市の大会などは援助があるが、企業の大会などは補助されない。	島しょ部ではそのような事案があることは承知している。部活のことは初めて聞いたので、どういう解決方法があるか、検討する。離島の人の普段の活動についてはあまりできていないと感じている。妊婦やワクチン接種などは対応しているが、部活についても、現場と十分に確認したい。	(学校教育課) 部活動時の移送(現地集合、現地解散)については、基本的に教職員が生徒を車で移送することはないため、学校集合の場合も、一度学校に集まり有志の保護者がまとめて現地まで連れていくという形となっています。 部活動によっては、部費の中から車出しの謝金という形で支払っているところもあり、ご理解をお願いいたします。	教育総務課、 学校教育課
34	日振島	4	第4回目のワクチン接種はどう考えているか。	国からは60歳以上と基礎疾患のある人、7月を目処にスタートするように担当が最終段階を詰めているところ。交通費やワンコインタクシーを含めやっていきたい。これまでは体育館で集団接種をしていたが、インターハイの関係で使用できないので、場所については今までは違う場所になる。	4回目接種は3回目接種完了後5ヵ月経過した順に、5月26日から60歳以上の医療スタッフから接種を開始しています。6月中旬以降、施設入所者。7月以降、一般の方へと接種が進み、接種券は接種可能となる方から順次発送予定となっています。 個別接種と集団接種での実施とし、集団接種は、7月にパフィオうわじまとコスモスホール三間の2会場で、6日間、計6,000人の接種を予定しています。	保険健康課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
35	日振島	5	定期的に保険健康課などの市役所職員と話しているが、タイムラグを多々感じる。先程の学校での水漏れもすぐ来れない。理由は市の行政船に便乗してということや、担当が移動時間があったいなと思うのか。行政船を無理やり利用しようとしていないか。定期船の回数券を市がまとめて買えばいいのではないか。そういうやり方をすれば、もっと島の状況をわかってもらい、もう少し対応が早くなると思う。	担当がどういったところでそうしたか分からないが、先日のように嘉島に定期船で行ったこともある。大人数で行くときは連絡船を使うかもしれないが、その時々を使い方はしっかり徹底していきたい。	職員が離島へ行く場合、行政連絡船と定期船のどちらも利用することが可能ですので、状況に応じた手段を利用し、早急な対応に努めます。	総務課
36	日振島	6	待合所に市の管理のトイレがあるが、和式しかない。1つ増設か、洋式に変えて欲しい、できればウォシュレット付きで。公民館のトイレも洋式にしてほしい。	学校では配管の問題で設計が必要。ウォシュレットについては、これからはウォシュレットをベースに考えて整備していく。船着場のトイレが市の管轄であれば、どういう状況であるか確認したい。増設よりは便座を変えることが現実的と思う。	(商工観光課) 市管理のトイレの洋式化については、使用頻度、老朽化などにより優先順位を考慮した整備を検討する必要があると考えますが、トイレの管理部署も様々であるため、まずは、老朽化による修繕対応の中で洋式化を図ってはどうかと考えています。  (生涯学習課) 日振島公民館にはトイレが4基設置されています。(1階1基(男女共用 和式) 2階3基(男性1基(洋式)、女性2基(和式、洋式 各1基)) 公民館のトイレの洋式化は順次実施しており、日振島公民館トイレの洋式化については、令和5年度の実施予定で計画しています。	商工観光課、 生涯学習課
37	日振島	7	業者が来るには時間がかかるので、まずは市の担当職員だけでも視察にきてほしい。	すぐに行くことが寄り添い、それは共に創っていくことにつながるので、そのようにしていきたい。島と街中で対応を変えないように考えていきたい。	早急な対応が必要な場合や軽微な確認等については、担当課が、日振島出張所及び日振島公民館の職員と連携を取りながら対応にあたります。 担当職員が、直接確認する必要がある場合等は、行政連絡船又は定期船を利用し、早急な対応に努めます。	総務課
38	日振島	8	Aさん) 学校現場としては、教育総務課に写真を送ってお願いしても何も連絡がない、業者に指示したとかの経過の連絡があればいい。以前の市では施設の故障は必ず当日か翌日には見に来ていたし、近いうちに対応の連絡があった。しかし、今はこちらから言うだけで溜まっている状態で、地域としても疎外されていると感じる。他校は違う対応であれば、非常に腹立たしいこと。学校からの要望はまず回答をいただきたい。今年の担当はすぐに連絡をくれたが、そこをスムーズにしてほしい。 Aさん) また、先ほどの話に関して、以前、中学校で部活指導をしたが、現地集合、解散は学校、部活によって違う。車を出しにくいことは、学校や市から配車した人に支払いなどはできないか。 Bさん) 場所による。津島は子どもだけでは行けない。迷惑をかけることが多いので、現地集合、解散の方がありがたい。他の保護者に頼むことは申し訳なさがある。 Aさん) なぜ現地集合、解散かは保護者への気兼ねや事故があったときの対応。事故の不安で最近は現地集合、解散が多くなっている。 Cさん) 競技による。個人競技は開始時間が違うので、現地集合、解散が多い。	島だから遅いことはあってはならないので、すぐに対応したい。受け取りましたとの一言があることが基本的なことだと思うので、学校だけでなく、何かしらの返事ができるように徹底したい。 現地集合、解散の部活は多いのか。知人からは学校集合をよく聞く。 部活の移動が保護者ありき、場合によっては宿泊ありと再度認識をした。 状況を含めて教育委員会に確認したい。	(教育総務課) 遅延については、引き続き担当には直ぐに対応するように徹底し、学校側とより連携を取って対応してまいります。  (学校教育課) 部活動時の移送(現地集合、現地解散)については、基本的に教職員が生徒を車で移送することはないため、学校集合の場合も、一度学校に集まり有志の保護者がまとめて現地まで連れていくという形となっています。 部活動によっては、部費の中から車出しの謝金という形で支払っているところもあり、ご理解をお願いします。  (総務課) 業務を進めるにあたり、関係者と適切に情報共有することは基本であると考えております。研修や上司からの指導等を通じて、基本を見直し、職員の業務遂行能力の向上に努めます。	教育総務課、 学校教育課、 総務課
39	日振島	9	市の対応は遅いので、議員にお願いすれば、すぐ工事をしたことがある。校長や館長がお願いしているのに、議員が言えばすぐに対応するのはどうしたものか。	お返しする言葉もない。海底送水管の漏水のときには、私も早々に駆けつけたつもりであったが、民の動きで対応できたものと思う。市民サービスの向上を申し上げたが、そもそも原点は聞かれたことにまずは応える、調べているならお待ちくださいという答え方もあるかもしれない。戒めとして受け止め、きちんと対応できるようにしたい。	業務を進めるにあたり、関係者と適切に情報共有することは基本であると考えております。研修や上司からの指導等を通じて、基本を見直し、職員の業務遂行能力の向上に努めます。	総務課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
40	日振島	10	消防団部長としてお願いがある。日振島で火災が起きれば、消防団員が消火するが、装備が充実していない。ヘルメットもフェイスガードがない。せめて火災現場の装備を島しょ部は充実しないと、団員のことを守れない。消防署は現場検証だけ、離島の消防団は消防署並みの装備を整えないといけない。昔と違い、断熱材があり消火が困難であり、昔のままの装備で消しにいけないかな言えない。消防は管轄が違うが、自主防災組織に配備して消防団が使用することができないか。	装備については十分に知識はないが、他の消防団と変わらないと見に行った時に感じている。豪雨災害で大きな力になっていただいたこともあり、消防団にはきちんと手当するのが私の考え。この地域を守っている方からのご意見として、具体的に何ができるか考えたい。	総務省消防庁の消防団装備の配備基準に基づき、計画的に装備品の整備を進めています。ご指摘の防火衣一式（防火衣、防火帽、防火用長靴、防火手袋）についても整備計画に基づいて、配備予定となっています。	危機管理課
41	日振島	11	緊急搬送でも消防団、漁協職員が搬送しているが、漁協の船も老朽化して、修理、建造が必要。診療船の配備は人がおらず対応できなかったが、市として離島の救急搬送をどう考えているか。	消防団は医療従事者と考え、ワクチンも優先接種した。三間でも救急搬送の話はあったが、老朽化した船をどうするかは考えていけないといけないが、宇和島全域でも考えていきたい。	離島における傷病者の救急搬送について、日中はドクターヘリの活用により、夜間は市の助成金を活用した島民間の互助体制を維持していくよう努めてまいります。	保険健康課
42	戸島	1	マイナンバーカードについて、数年前は職員に来てもらった。5年が有効期限となっており、更新時期に職員に来てもらいたい。	必ず島の方に来ます。また、自治会からこの時期に来てもらいたい、集まりやすい時期という情報提供をもらえたら助かります。	—	市民課
43	戸島	2	戸島小学校は5年生6名で教員1名、校長は遊子と兼務。結出小学校は、学年が違うということはあるが、生徒4人に対して教員4名。プールするのに1人ではできない、保護者の協力をお願いしたいとあった。もともとわかっていることだが、教員を1名にしている。ここは、納得ができていない。 教育委員会には話を聞いてもらって、市から県には言ってもらっているとは聞いている。次は6年生だが、現在先生1人で指導しているということは不安は残る。	最終結果は、県教員が決めることだが、教育委員会も力を入れてなんとか解消してほしいと伝えているところ。プールについては、現在は、スクールサポートスタッフで対応しているとのことですが、このあたりの詳細はわからないので、教育委員会と話を丁寧にしていきたい。 そういった気持ちがあることを県の方にもしっかり伝えていく。必要な説明は、もう一度させていただきます。	戸島小学校長に確認したところ、最初は保護者をお願いしたが、練習体制や時間等を工夫し、スクール・サポート・スタッフと教職員で放課後の水泳指導をすることが可能となったと報告を受けました。保護者にもその旨をお伝えした後、保護者のご意向で輪番で監視をしていただくことになり、保護者の皆様大変感謝していることです。 また、教職員数は、学級数等を考慮して、愛媛県の基準等に基づき、最終的には、愛媛県教育委員会が決めることとなります。そのため、戸島小学校は結出小学校よりも児童数が多いですが、学級数が1のため、基準等に基づいて、教職員数は結出小学校よりも少なくなっております。愛媛県教育委員会には、戸島小学校の現状を伝え、継続して教職員数への配慮をお願いしたいと考えております。	学校教育課
44	戸島	3	地区の災害のサイレンは、今までは誰でも鳴らせたが、故障後は危機管理課に連絡したら鳴らしますと言われていた。できたら誰でも鳴らせる状態にしてもらいたい。火災等の際にもサイレンを鳴らす必要がある。	連絡先は消防署ではないか。以前お聞きして、危機管理課に確認し、その結論は、その当時は消防署に連絡したら全域にサイレンできるということであったと思う。再度確認して、自治会長に連絡する。	昨年11月に実施した消防団の離島巡視に合わせて、消防本部作成のチラシを配布しています。ご要望のあった戸島地区（本浦、小内浦）の全戸に広報6月号の配布に合わせて、チラシの配布依頼いたしました。	危機管理課
45	戸島	4	医師の確保の目処は立っていないのか。 学校など施設、人員が確保できないので人口減少しているのか、人口が減っているから確保できていないのか。若いご夫婦も島に住むことをあきらめた人もいます。	医師確保は目処が立っていないのが現状。以前のタウンミーティングでも皆さんの第1の希望は医師の確保であったと記憶している。離島の医師からも意見をいただいているので、粘り強く行っていきたい。また、処方箋に関しては病院に外向かなくても、できるような取り組みなども合わせて行っていきたい。 保育園などの施設は、実際の規模に合わせて整備しているが、将来の展望に明るい雰囲気はなければ人口減少につながることもある。島民の方の思いをきちんと伝えて、少しでも枠を広げていく努力はしないとけないかと思っている。教員の全体数の問題で、難しいところがあるが、心意気としては少しでも増やす、そして、寄り添って向き合っていくというその心意気でやっていきたい。持ち帰ってきちんと検討したい。	（保険健康課） 島しょ部の医療体制については、医師の確保が最も重要と考えています。令和3年11月から、市ホームページ職員募集ページや、愛媛ドクターバンクなど、複数の媒体で医師募集の登録をしていますが、問合せ等は少ないのが現状です。今後も、求職医師の情報収集に努めてまいります。  （学校教育課） 教員数は、引き続き愛媛県教育委員会に配慮をお願いしたいと考えております。	保険健康課、 高齢者福祉課、 学校教育課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
46	戸島	5	今年の出荷尾数は戸島では平年の3分の1ぐらい。値段は良くても数が準備できていないことがある。今年の方は、どうにかやりくりできそうだが、来年の話で極端に取れた場合に値段の確保ができるかが懸念。仙台のイオンでのフェアなどの話は出たが、生産者目線では、値段の確保できるのか。餌も値上がりも予定されていると聞いている。餌の部分のセーフティネットなどもあると思うが、それらの追加として、補償などあればと思う。	去年は、ブリのモジャコ（稚魚）が少なく、全国的にも3分の1程度だった。今年も、それなりに確保できたが、サイズの歩留まりがどうかということは聞いている。県漁協うわむ支所所属の方は、共済に加入していただいております。加入率が高いので、コロナで魚価下がったときは対応できた。しかし、餌代のセーフティネットに関しては、把握できていないところがある。地域の産業を絶やすことはできない、また、魚類養殖は関わる人も多く、取扱い金額も大きいので、農林水産省にも要望している。餌代に関しては、何ができるとしっかり考えていきたい。		水産課
47	戸島	6	大浦の水産物荷さばき施設に生きた魚持っていったときに、翌日の競りまで生かせる場所がないので、作ってもらいたい。船で持っていった場合、前日持っていても、朝締めでなく前日に締めて冷蔵保存になり、鮮度と値段が下がる。以前のところは、全魚種対応できるいけすがあった。	市は施設を作るに当たって必要なものは準備したつもりであった。どういう中でそうなったのか、確認する。		水産課
48	戸島	7	夢のような話ではあるが、九島の橋は、30年前から話があった。戸島もこれだけ生産のある島は、全国的に見ても珍しい。橋が架けれないということはないと思うので、夢のような話ではあるが検討をお願いしたい。 また、戸島の人口は、以前は800人くらいいたが、もはや300人まで減っている。	九島の橋や愛南の高速道路のように、いろいろな運動・気運醸成などがあってのことと感じている。生産性、漁場としてのこの地域の魅力はわかっているが、これから事業化となると、今は厳しいと感じる。 宇和島の人口は1年間で1,200名程度減っている。子育て施策に関しては県内でも評価をいただいております。出生率も西条と宇和島が県内でも高い。子育てにかかるコストをいかに市が支援するか、子育て世帯が少しでも快適にできる環境を整えること、子どもたちも心豊かにし、小さな頃からこれをやりたいというような環境を作っていくことに取り組んでいきたい。		建設課
49	戸島	8	伊達な宇和島ナビ（アプリ）で見ているが、戸島にはAEDが2つしかない。使用期限を過ぎそうなものもある。また、診療所もないので、AEDの数をもっと増やしてほしい。	状況を確認させていただいて、どういう手当ができるかは、持ち帰って検討する。また、情報として確認できておらず更新できていない場合があるので、情報提供いただければ助かる。	戸島の市施設AED配置箇所 ・戸島小学校 ・旧戸島保育所 ・戸島分団第2部消防詰所 小内浦に設置されています。	保険健康課
50	嘉島	1	港湾のことについて、市長もこの港のことはご存知と思うが、宇和島の内港の良いところをA社が係船使用を断っている。占有権を与えているのか。A社に占有権を与えた理由、条件を教えてください。あそこには船10台はつなげる。せめて台風の時だけでも、市からA社に指導してほしい。 宇和島湾は港湾でどの船でも着けられるが、A社に占有権を与え、他の船も除けると言われた。勝手にA社が言っているものと思う。新内港は県か国の第二種の避難港になっている。 A社が魚の荷上げをするために、あの周辺は灰だらけになる。台風ぐらいは島しょ部の漁船を優先するようにしてもらえないと、弱いものいじめだ。 認可した場合できなかったら、戸島の船は大浦に停めるという理論もある。A社の荷を大浦から車で運んだらいい。港湾課にも電話で問い合わせたことがある。我々には死活問題。	新内港は愛媛県が全体を管理しており、一定の維持管理を市が行っているが、占有権は聞いたことがない。占有はできないと思うので、確認して自治会長へ伝える。 今までの使用で十分に理解していないこともあると思う。確認する。 占有が事実かどうか分からない。ベタ風なことは分かっているので、まずは占有かどうかを知らないとうちにもできない。	(自治会長に連絡し、個別対応済み)	建設課
51	嘉島	2	定期船が診療船になると聞いたが、東風では船が着けられない。病院にいけないうちもあるので、何とかできないか。接岸しても乗り降りできない。また、狭いので出れなくなる。	自治会長からもJAと棧橋の隙間の話があったが、その話が出ていなかった。接岸できないこと、盛運汽船が何ができるかを課題として持ち帰る。	(保険健康課) 定期船を診療船とする計画はありません。	企画課、保険健康課（診療船）

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
52	嘉島	3	先ほど船の台風避難の話があった。大浦の市場の方に台風避難用の浮き桟橋を2つほど整備してほしい。嘉島にある鉄パイプをつけたしっかりしたもの。 きさいや広場の駐車場出入り口があるが、歩道を歩くと危ない。駐車場側に停止線をつけてほしい。	大浦は今後どうするか、県を中心に今後行われる。魚市場利用者にとっても、大浦は今のままでは漁船の避難に十分でないと感じている。 きさいや広場の出口については、市が関与しているうわじま産業振興公社が運営している。駐車場の白線や車止めの改善の話があるので、停止線もできることは対応したい。	(商工観光課) きさいや広場担当者に修繕の際の対応について確認しました。今年度中にきさいや広場により実施予定の駐車場白線修繕の際に、停止線の描画を行います。	建設課、水産課、商工観光課
53	嘉島	4	(市長からの話)	先日、自治会から要望があったJAの件は、島内での唯一買い物ができるところで、大事なものと思う。JAと話をし、国からは離島と農水関係での支援があるが、時間がかかるので、話し合いを急ピッチでしている。小学校の利用も考えたが、学校までは歩けない人もいると思うので、あの場所で何とかと思う。また、進展があれば自治会長に話をする。	-	企画課
54	嘉島	5	戸島診療所の医師は何とかならないか。	これからも努力していく。薬の手配については、郵便局と協力して、自宅で手間がかからずできるように考えている。医師確保と両輪で努力を重ねていきたい。	-	保険健康課、高齢者福祉課
55	岩松	1	県の管理かもしれないが、横川地区の谷郷バス停留所付近の河川の中島の木は切って撤去しているが、その横に土砂などが溜まっている。地区の方から撤去してほしいと声が上がっている。また、以前に堤防が切れて災害が発生したこともある。本当は県の方にいうべきかもしれないが。	市民から土砂撤去や、道路補修等の要望があれば、それぞれの管理者が対応しているが、国、県、市のどこが管理しているのが市民の皆さんにとっては、問題を解決してほしいという気持ちだと思う。場所を確認し、市の管理であれば対応を考え、県、国の管理であれば、県・国へ市から伝える。	-	建設課
56	岩松	2	久保津地区には市営住宅2カ所、計12戸あり、うち3戸入居しているが、市の担当者から解体すると聞いた。数年前まではシルバー人材センターが手入れしていたが、最近は近所の人が除草などの管理をしている。解体自体は歓迎するが、いつ頃からどのようにするのか。また、解体後にどのように活用するのか。1戸は、5年ほど前、危険家屋に認定されて更地になっているが、そのままの状態。良い町を作る対策に繋がるようによく考えてもらいたい。例えば、若い方に分譲できたら土地代、固定資産税等収入増につながる。	市営住宅は老朽化や耐震基準などで利用が難しいところについての対応は、これから考えていく。久保津地区の件は、どういう状況か確認する。また、解体後の跡地利用についても担当課と協議する。	久保津住宅団地のように戸数が少なく、住民のみでの清掃が難しい団地については、市職員または専門業者での対応を実施しておりますが、令和4年度からシルバー人材センターに委託し定期的な除草作業を行う予定です。久保津の市営住宅建物の解体については、今年度、2棟の建物を解体撤去する予定ですが、入居者がおられる住宅もあることから、その他の住宅建物の解体時期については未定です。解体後の跡地については、今後市として利用予定のないものについては、売却することを基本的な方向として検討しています。	建築住宅課
57	岩松	3	まちを創るでやすらぎの里があるが、利用中止から相当の年数が経っている。観光客、帰省客も楽しみにしている。道の駅店舗舗、温泉を目的として目指してくる人もいる。今は、駐車場も寂しい状態。是非、駐車場が満車になるように、津島は南楽園とやすらぎの里がメインと思う。できるだけ早く再開できる計画をお願いしたい。	やすらぎの里は、合併前の津島の誇るべき施設であり、これまで多くの方が利用してきた。20年あまりが経過し、地盤沈下や温泉汲み上げなど、施設の故障をその都度修理して手当てしてきた。 豪雨災害時には多くの方が利用し、評判も良かった。今は休止しているが、無くす選択肢はないだろうというのが、今の計画の出発点。現在、設計業務を進めており、指定管理者として利楽、飛鳥の湯の運営会社に設計から加わってもらい、きちんとした施設ができるよう計画しているところ。また、取り壊しにも時間を要するので、令和5年度の終わりから建設開始し、令和7年度の運営開始を目指している。なるべく早くにお知らせし、分かりやすく丁寧に説明する。特産品を生かしたブース、売り場の面積を広げ収入増を目指したい。	今年5月から基本設計・解体設計に着手しており、11月頃から令和5年度にかけて実施設計に着手します。 令和5年度から解体工事、その後令和7年度にかけて建設工事に着手し、令和7年度中の運営開始を目指しています。	商工観光課
58	岩松	4	伊達博物館の問題として、一部の宇和島の人が住民投票条例制定を求めていると報道されている。私は天赦園と一体で公園にすることに賛成している。住民運動で時間がかかるようになれば、市や議会ですべて議論し、計画して予算を捻出していることなので、根幹が崩れると思っている。宇和島地域で伊達博物館の質問と意見があれば聞かせてほしい。また、今後の伊達博物館の位置付けを教えてください。	平成25年くらいから伊達博物館建替えの議論が始まった。耐震化の検討がなされる前に漏水などに早期に対応するため2,000万円程度かけた大規模改修も一度行っている。伊達博物館建替委員会には民間の方を加え様々な検討を行っており、現在の収納物をどのようにコントロールするかという問題はもちろん総合的な判断をした後にプロポーザルにて、隈研吾設計事務所設計を決定。建替え場所である天赦園は以前はソフトボール場、テニスコート等であり、伊達博が移転することを見据えて国から購入し、大規模な開発をせずにキリン公園を整備している。	地域の歴史と文化を学び、現在を生きる指針とするともに、先人から引き継いだ文化遺産を後世に継承し、未来に向かって地域文化を創造する拠点として位置づけます。	文化・スポーツ課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
59	岩松	5	建替えにあたり基本設計、実施設計をすと思うが、ワークショップで隈氏に会い、この人であれば間違い無かった。建てる時には、家紋を外観に、など象徴的な外観にこだわってほしい。スタンドグラスで夜でも見えるように是非してほしい。ドローンを飛ばして上空からも家紋などが見えるようにできればと思う。合併して17年目くらいを迎える。1市3町の本質的な連携が見えない。どこかでコミュニティを深めたい。20周年を記念して宇和島市民の歌を作ってもらえればと思う。子どもたちや防災ラジオ、市役所の電話保留音で流れるなど活用できると思うので、ぜひ検討していただきたい。	隈氏と話してみても歴史やその背景にも精通され、ただ建物を作るだけの方でないと感じた。ご意見の夜や上空からも家紋が見えることはアイデアの1つとして伝える。 合併して1市3町が一体化していないとは私も多々感じる。周年事業はまだ考えていないが、市の歌も頭に入れ、今後考えたい。	(文化・スポーツ課) 新伊達博物館の基本設計ができましたら、市民説明会を開催する予定です。	文化・スポーツ課、市長公室(式典)、総務課(市の〇〇)
60	岩松	6	何でも問題には賛成と反対がある。伊達博物館、天赦公園を残していただきたいために、住民投票条例の運動を起こした。署名簿の縦覧をして3,161名が残っている。なぜこれだけの人が署名したか、第一に天赦公園は市民の憩いの場の前に水が湧くところであり、南海トラフ地震での液状化危険度も高い。市内で一番広い公園、天気の良い日は多いときは100名くら利用者がいる。城南中学校のタウンミーティングで、伊達博物館の利用者数を聞いたが、5万人は目標数で来場者の数ではない。あの施設で儲けることはない、40億円をかけても、人口も減り、年経費1億円がかかると思うし、あの土地は災害の避難地、火除け地でもある。なぜあそこまでお金をかけないといけないか。ビルにしるとは言わない、展示スペースは今と同じと聞いたが、宇和島市の身の丈にあった施設をと思う。それで反対運動を起こした。建替委員会も市民のことを考えてもう少し考えてほしい。	-	-	文化・スポーツ課
61	岩松	7	やすらぎと博物館は急がないといけないと思うが、検討して良い方向に進めばと思う。 農業に関する話。昨年11月から愛南と宿毛の間の小学校から明浜の狩浜を隈無く歩き、果物を見て回ったが、平山を越え柏に入ると一本松、須ノ川にもない。下灘、畑地は400町(ha)あったが今では40町(ha)ない。全盛期の昭和50年から生産量も面積も1割になっている。品種にこだわり10から30種に増えている。農家が増やしているのではなく、県や国が新しいものを玉津試験場で研究しているが、新しいものに替え、以前からのものを縮小するのではなく農家に温かい指導するようにしてほしい。	市場は南柑20号を欲しがっているが、現場は労働力の分散のことも考えながら、品種を変えていると聞いている。愛南町はこのところ河内晩柑に注力している。えひめ南が柑橘産業全体を指導していると思うので、参考にさせていただく。	-	農林課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
62	岩松	8	津島地区の1番の課題はやすらぎの里の建替え問題になるのか、そこだけ直していくのか。基礎から直し、令和2年から休止している温泉を復活させることが第一と思う。建替えでなく、悪い部分を直すように1日も早く再開してほしい。 伊達博物館の署名の件も、建替え問題についても、まちを創るとあるように、関係者にきちんと説明を。文化事業として大変大きな事業になる。将来の子どもたちに希望が持てるまちづくりの1つの礎になると思う。関係者と協議し、何のために建てるかが重要になると思う。完成すれば宇和島の経済の立て直しになる。400年の歴史があり、観光客はそれを見に全国から来る。城下町を中心にしたまちづくり、津島、吉田、三間の文化振興もお願いする。 観光振興を進めることが、重要な問題点になると思う。観光産業をすることで、全国から来ることで、人が来ることで色々な情報が入ってくる。1つの大きなテーマになると思う。全国の素晴らしい美術館を自分の目で確かめ、観光、文化をしっかりと考えていく必要があると思う。	やすらぎの里は津島の誇るべき財産であるが、地盤沈下はもとより温泉の所どころが故障しているか分からない状況にあった。全体、一部の改修にするか色々考えあると思うが、20年余り経った建物を部分的に残してさらに改修するのか、国の有利な起債等を使って、50年100年残るものをつくり作っていくのかという中で、全面的に改修することとした。経験のある指定管理者を決め、その意見を反映させながら行政のみではなく温泉施設の分かる設計士に依頼した。やすらぎの里は津島町の宝であるという姿勢で今後も取り組んでいく。 伊達博物館と観光・文化については、拠点を作ろうとしている。津島は岩松の町並みがあるが、合併当初から止まっていたが、津島の特色を残していこうと現在、地域の皆さんと進めている。吉田はお練り、三間は毛利家など、地域の文化を残していく。軸は伊達博物館、そしてハブ&スポークで、津島なら岩松の町並み等を地域の人と取り組んでいく。文化が観光につながると、現在、文化庁もその考えであり、人が集まるきっかけになるものである。観光は文化が一つのきっかけになるので、伊達博物館をしっかりと作り、ここにある歴史・文化をつなげていく努力をしていく。	(商工観光課) 全改築では、温浴施設を中心とした自由な配置が可能となり、最適な動線を確保して収益性を高めることができ、メンテナンスしやすくライフサイクルコストの抑制が図れる施設となります。 一方、一部改築では、事業費を抑えることができるものの、既存施設が20年以上経過していることから、今後改修費が必要となってくることを総合的に判断し、全改築の計画としております。 今年5月から基本設計・解体設計、11月頃から令和5年度にかけて実施設計に着手します。 令和5年度から解体工事、その後令和7年度にかけて建設工事に着手し、令和7年度中の運営開始を目指しています。  (文化・スポーツ課) 新博物館では、宇和島伊達文化保存会を中心とした文化財や資料を展示する企画展示室に加え、常設展示「宇和島の総合ガイド」を新設する予定です。旧宇和島城下にとどまらず吉田、三間、津島も含めた宇和島圏域全体の歴史文化を紹介し、宇和島圏域全体の文化芸術のプラットフォームとなるべく博物館を目指しています。	商工観光課、文化・スポーツ課
63	岩松	9	近年、豪雨災害、コロナ対策など市職員の負担が大きくなり、正職員が減り、会計年度職員で業務を補っていると思う。職員も宇和島市民であり、職員が安心して働けるよう考えてほしい。 メンタルヘルスや共働きでどちらかが子どもを育てる休めるように安心して働ける環境をお願いしたい。	豪雨災害時に人員が必要であることを痛感した。行政のような大きな組織では、若い人は動きづらいと感じ、豪雨災害時は決裁等不要とし動きやすくした。職員はしっかりと採用すべきと思う。業務が細分化する一方で範囲は広がり、会計年度職員の処遇は上げているが、まだまだと思う。将来もっと人手は必要になってくると思うので、更に処遇改善が必要と思う。 できることはしっかりと対応する。	-	総務課
64	岩松	10	産業振興について、長崎との交流を図ってほしい。シーボルト、楠イネなどの繋がりがあって、長崎と交流を深めていく必要があると思う。大きく進めてほしい。	繋がりを大事にすることは必要。イネさんの話は承知している。長崎に対してどうするとは言えないが、ご指摘は頭に入れておく。	-	-
65	岩松	11	やすらぎの里の指定管理者は利楽とあるが、津島と重信が同じではいけないと思う。高速を通って来たときに利楽と同じではがっかりすると思う。また、利益ではなく、市民の憩いの場となるようにしてほしい。	ご心配の点は理解している。指定管理者からは、動線や使いやすさなど機能の意見をもらうので、同じ看板にはならない。利楽と同じようなものを作るのではない、意見はしっかりと考えていきたい。	新施設の指定管理候補者を早期に選定し、今年度から着手している設計に民間のノウハウ、管理運営目線の意見を反映させ、営業の展開を見据えた設計とすることにより利用者サービスの向上を図ってまいります。 また、開業までの準備期間を長くすることで、各事業者や地元生産者との関係構築や人材確保、資金調達、備品購入などの開業準備に取り組んでいただきます。 ただし、指定管理者候補者だけが使える機能を導入するものではないため、ご理解をお願いいたします。	商工観光課
66	岩松	12	5月5日に隈氏は自分が設計したらもので国内外からお客さんが呼べると聞いたが事実か。伊達博物館ができれば、地域の貧困問題が解決するか。	事実は存じ上げない。1つの集客力はある、雇用が生まれる可能性はあるかもしれないが、少し内容が異なると思う。色々な受け止め方があると思う。	-	文化・スポーツ課
67	岩松	13	南レクを建設した当時の計画の中では1日に4万人全国から来ると説明していたが、愛南町のサンパールは倒産している。南楽園の入場料金200円だが、入場者は少なく、職員の方が多い。人件費など経費がかかって利益は出ていないだろう。 市長には事業を成功させた方の歴史上の人物になってほしい。十分に注意して頑張してほしい。	心して努めたい。	-	-

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
68	宇和海	1	<p>コロナ禍の中、加工食品、アコヤガイの対策等いろいろとサポートに感謝。魚類養殖は餌や各資材が上がり厳しい状況が続いている。愛南町は以前から水産庁の職員を招致し、いろんな事業をしている。宇和島市も市長公室や水産課だけでなく、いろんな相談ができるようにしてほしい。</p> <p>新規就業支援で柑橘は帰ってきているが、漁業者は厳しい状況。また、漁協職員の成り手も少なく、ここ数年で急に人がいなくなった。加工も高齢職員がやめたり、パートも高齢でやめる中、市内から求人しても、パート代を上げることも考えないといけないが難しい状況。市としてUターン者への支援はあるか。外国人労働者も管理者従事、指導、衣食住などで難しい部分がある。</p>	<p>水産だけでなく、様々な物価が上がっている状況。水産の資材の値上がりも最近聞くようになった。豪雨災害からの復旧、復興では農林水産省の方に来ていただき、色んなことを知った。水産も含めて何かできればと検討をしているおり、愛南町がいろんな事業をしていることを知っているの、何か取り組めればと思う。</p> <p>担い手は即戦力が欲しいということで、各現場も定年を超え雇っているのが現実。宇和島では若い人が宇和島を選んだ時にある一定の奨励金や今年度からも移住者支援をしているが、産業の人件費の補助はできていないので、アンテナを立ててやれることはしっかりやっていきたい。</p>	—	水産課、商工観光課
69	宇和海	2	<p>人を創るはよく聞くが、自分は2人の子どもが大学を出て市外県外に出ている。以前、息子から東京や全国で活動している人の斬新的なアイデアを宇和島に生かせることはないのかと言われたことがある。息子がいる東京の企業では6月に代表が宇和島出身者になり、また、先代の社長は県内のいろんな企業のアドバイスをしていたと聞く。外で経験したことを宇和島や遊子で生かせることが何かあると思う。</p>	<p>テレビのキー局の社長も両親が宇和島出身という縁もある。宇和島を出て取り組んでいる人のアイデアは斬新で道を開いていただけの可能性もある。別の考えを取り組む側面も必要と思う。いろんな価値観を入れることは大切なので、しっかり考えていきたい。</p>	—	市長公室
70	宇和海	3	<p>コミュニティスクール遊子、校長が4年連続で毎年変わっている。市長は知っているか。</p> <p>首長でも教育委員会のことはなかなか入れないと聞く。コミュニティスクールは地域の特性を学校教育に生かす取り組みとされている。その中で校長が4年連続で変わることは納得いかない。コミュニティスクールの一員として、トップである校長が4年連続で変わることは納得できない。このことは、校長の力量、知見、知識、決断力などは関係ないので、誤解のないようにしてほしい。他の学校と違いなぜ遊子小学校だけが4年連続変わらないといけないのか、14人のメンバーも疑問を持っていると思う。今後そのようなことがないように配慮をお願いしたい。</p>	<p>今年、学校教育課に異動してきた人が1年とは知っている。ごもっともな話と思う。島しょ部を含め、教員配置の話は昨日の離島でもあった。人数のこともあると思うが、人事については市教育委員会がここに力を入れたいと県教育委員会に話をしている中で、県教育委員会の事情で判断されている。改めて教育委員会から県教育委員会にしっかり伝えたいと思う。</p>	<p>任命権者は、愛媛県教育委員会であり、愛媛県教育委員会に最終的な人事権があります。今後遊子小学校の現状を伝え、管理職の継続年数等を考慮していただくようお願いしたいと考えております。</p>	学校教育課
71	宇和海	4	<p>遊子の人口は約750人、以前は1,000人以上いた。地域は一人、二人暮らしが多い、今は車の免許があっても、10年経てば免許返納など使えないこともある。市内への移動手段は、バスしかないが、時間が決まっており、ほかの地域より距離数に応じた値段が高い。コミュニティバスの運行を一部で考えてほしい。</p> <p>また、福祉介護についても、市内から距離が遠いので、断られることがある。市内との間に施設があればと思う。</p>	<p>宇和島市で人口は年1,200名程度減っている。国からはコンパクトシティという施策も言われているが、やはり住み慣れたところなるべく暮らしていただきたいと思っている。コンパクトシティと周辺のネットワーク、ネットワークは基本的にバスと思う。コミュニティバスは土日は動いていないので、公共交通である宇和島バスを守っていくことはやっていかないといけないと思う。</p> <p>介護については、ネットワークを広げることを誰がするのか、社協なども相談したい。</p>	<p>(企画課)</p> <p>コミュニティバスについては、廃止された民間バス路線に対して、地域内の住宅地や集落と市役所や公立病院などの公共施設を結ぶ生活路線を補完することを目的に導入しております。</p> <p>また、国の制度上、民間バス路線が運行している区間は、路線バスとの競合になるため、コミュニティバスの導入はできないこととなっておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	企画課、高齢者福祉課
72	宇和海	5	<p>診療所の先生がいなくなり、年数が経過した。薄洲の医師が掛け持ちしているが、災害になったときに、がけ崩れで来れないこともある。遊子と下波を兼務できる医師をなるべく早く招致してほしい。</p> <p>南海トラフ地震の防災マップでは、遊子地区の断水率は99.9%となっている。防災倉庫の水は2日程度の量と思う。各地区に個人の井戸があるので、災害時に生活用水に使わせてもらえればいいと思う。</p>	<p>医師の件は、かつては遊子と下波にいたが、最優先は島しょ部であり、対応をしているところ。前回の医師の招致も至難の業であった。一方で薬が必要な場合は、通院を回避する仕組みができないかという中で、郵便局のネットワークで手間を取らさないようにすることを取り組んでいこうとしている。</p> <p>井戸については、登録をして地域で使用できる防災井戸の仕組みは構築されている。確認して連絡するので、遊子で協力していただければお願いする。</p>	—	生活環境課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
73	宇和海	6	(市長から)	遊子の段畑の価値は、象徴的なものとして誇りがある景観とされている。 大変状況は厳しいと話を聞いた。これまで守ろう会が取り組みをしていたが、持続可能な取り組みとなるよう、どのように支えることができるか話していかないといけない。市として何ができるか、JAもいろいろ知恵をいただいたり、今後改めて話をしていきたいと思う。	—	農林課、商工観光課
74	城北	1	赤松遊園地クリーンプロジェクトでは、トイレがなく、昨年3月に市の防災用のトイレカーを貸していただくことができ、第一号の利用者は私であった。市長にもお願いしたが、赤松自治会だけに特化することはできないとあり、私たちが清掃活動をした。最初はあの人から100万円いただいたことをきっかけに始まり、クラウドファンディングをし、500万円が集まったので、最終的にはお返しすることができた。赤松遊園地を宇和島のために利用できることはないか。入江は宇和島の玄関口で竜王様がいる。Youtubeでも赤松遊園地は心霊スポットになっていて、宇和島の繁栄にはつながらない。宇和島10景でもあり、ほかの自治会とは違う、私たちの年代はみんなが遊んだところ、穂積陳重の娘が遊んだ写真もできた。それなのに市は何もしてくれなかった、これからどうするか。私たちはきれいにするしかできない、赤松自治会にもそう言われた。これからどう開発するかが宇和島の力の見せ所。 市役所でATMが無くなった。早くしてほしいと思う。	赤松エリアはいろんな方から小さい時から遊んだ思い出を聞く。以前に自治会の所有ということもあり、やりにくいと話したのは事実。片づけられていることは私も見に行っている。今後については、土地が自治会ということもあり、プロジェクトが終わったということもあり、どういう形になるか自治会とも話ができたらと思う。 市役所のATMがないことはお叱りを受ける。様々な事情で一時的な移動は対応ができなかったが、高層棟リニューアルに向けて対応している。	(財政課) ATMについては、工事の工程上一時撤去せざるを得ませんでした。来庁者の皆様には、大変ご不便をおかけしておりますが、現在、関係金融機関と設置に向けての協議を進めているところであり、令和4年12月上旬の利用再開を予定しております。	企画課、商工観光課、財政課
75	城北	2	子どもが呼吸器が弱くマスクがきつい。体育の授業ではマスクをするように伝えられている。運動時や野外、登下校は外すようになってきているが、小学校でも差がある。市から伝えていることはあるか。	マスクの在り方は、国からも一定の距離があれば不要となっている。ただ、日本人の特性もあり、学校現場ではその考えが十分に整理されておらず、教育委員会からの通知もできていないと思う。校長が決めることもあるので、持ち帰り、今後どうするか確認する。	5月20日の厚生労働省「マスク着用の考え方及び就学前児の取扱いについて」の公表、5月24日文科科学省「学校生活における児童生徒等のマスクの着用について」の公表、5月25日愛媛県教育委員会の通知を受けて、5月26日に学校教育課から各小中学校、園に通知を出しています。マスクの着用が不要な場合、マスクを着用しない場合の留意事項を表にし、適切な配慮を各校にお願いしています。体育でのマスクは不要であるが、間隔を十分に確保すること、屋内ではこまめに換気を行い、呼吸が激しくなるような運動を避けることが必要です。	学校教育課
76	城北	3	子どもにアレルギーがあるが、みんなと同じものを食べたいので、お米や食べれるものは給食も食べている。今年度から全部食べられないことも多くあるが、今年度から給食を止めるには2週間以上前に連絡しないといけないと言われた。また、給食を少しでも食べるのであれば補助もない。相談からずっと回答がないまま4年が経過している。2週間以上前に言わないといけないのはどういう経緯か教えてほしい。	食材の準備など理由があるかもしれないが、なぜできなくなったのかを含めて確認して連絡をする。	(個別に連絡対応済み)	学校給食センター
77	城北	4	選挙時に市民代表となる議員や市長に考えを聞きたく、市民数人でアンケートをお願いした。市長にもお願いをしたが、返事がなかった。なにか返事があったら良かったと思う。何度か聞いたが、あと1週間と何度も言われた。	選挙時には相当数の問い合わせがあるので、十分に対応できていない現実がある。なるべく丁寧にしていきたい。	—	—

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
78	城北	5	<p>自治会長を15年ほどしている。少子高齢化も進み、自治会加入世帯が62世帯が44世帯になった。自治会費の支払いも苦勞することもあり、自治会に加入しない世帯も増えている。私の自治会地区内にも市職員がいるが、自治会にも入っていない職員もいる。他の地区でもあるのではないかと。職員としての自覚が足りないと思う。自治会に入っていない職員は入るように市長の責任でぜひ言っていただきたい。</p> <p>子どももコロナの関係で仕事が少なくなり、松山に移住した。いつまでも定住できる宇和島市を作ってほしい。</p>	<p>市職員の自治会加入はごもっともと思う。自助、共助はまさに自治会が中心であり、なるべく市職員はこれに属し、共に汗をかくべきと考える。どのように取り組めるか、今後考えていきたい。共に創るという中で、今年度にまちづくり協働指針を改定する。その前に市職員に何らかの形で伝えたい。</p> <p>商売のこともあるが、都会には教育の選択肢もある。他の分野でも多くあることは事実なので、本市は本市としての努力を重ねていきたい。</p>	<p>(総務課) 職員に対して、自治会の必要性を周知することで、加入促進に努めます。</p> <p>また、職員が、ボランティアや自治会等の地域活動に積極的に関わることのできる仕組み作りに努めてまいります。</p>	総務課、市民課、企画課
79	城北	6	<p>まちを創るに、美しい街並みを創るという視点を加えてほしい。城山から街を見下ろすと家の屋根が茶色に映っていることがある。宇和島に住んでいる人にも訪れる人にもいい街と思われるよう、景色や家の形など、市に指揮者ができれば、数十年たてば街の色合いも変わってくると思う。</p> <p>緑を大切にしてほしい。城北中学校の運動場にはビオトープがあったが、運動場が狭いからと、撤去された。</p> <p>須賀川の芝橋は芝さんが作ったのが最初と聞いた。朝日町側に皇太子記念碑があるが、山下亀三郎など早々たる人の名前がある。そこにあった木はもう切られたが、須賀川は柳や桜がもっとあった、歴史、自然も大切にしてほしい。研究者が町並みについて研究をしていると思うので、支離滅裂な建物に囲まれなくて、落ち着いた街になればと思う。コンダクターが呼びかければ、長年かければ良くなると思う。</p>	<p>海外では屋根の色や壁の色を統一し観光地となっていることを考えたときに、なるほどと思う。</p> <p>城北中学校のいらすの森は色んなことが起きてきたことは承知している。</p> <p>どのようにするかは今後検討したい。識者からのアドバイスでの町並みについても検討していく。</p>	-	都市整備課
80	城北	7	<p>3つの柱、1、2の柱は大変重要なことと思う。選ばれる街づくりをもう少し強調、3つの柱が一番大事。伊達博物館の建替え問題もあまり取り上げられていない。やすらぎの里温泉は一日も早く復活させることが一番のテーマと思う。そのことを優先的に資料に入れないと議題がない。</p> <p>一番の問題は伊達博物館の問題。3161名の選管からの正式な数字がでて、これだけ市民から関心が出ている。市議会は公園の問題についてあまり話をしていないと聞く。宇和島市としてどうするかを熱意を市民に示してほしい。文化事業としては50年100年に一度の大きな事業になる。隈健吾さんのときもよく集まり、話をした。各セクション、スポーツ文化課、観光課、産業課が基本設計について、部会を開いて話をしていくことが宇和島市として1つの骨格ができていく。市議会で予算がとおり問題がないと判断していると思うが、どういふものを創るか、骨格を決めた段階で反対者に示し、それから伊達博の規模や位置が決まる。そうでないものは作れない。</p> <p>まちを創るで、丸山公園では美術館を模索していると聞く。明治には高島華宵があれだけ活躍していた。まずはそれを掘り下げるのが宇和島市の大義ではないかと思う。高島華宵の兄は実業家、国会議員であり、先代の宇和島市長。大義のあることを行政の内部、市議会に働きかけることが筋が通っていると思う。権崎の資料館は資料になるものは1点もない。1点だけでも予算を組み、年度予算で芸術の分野にも取り組むべきと思う。八幡浜や大洲は予算を作り資料を収集している。そういう仕組みを作らないと何もできない。芸術が人を呼び込む、見ることで感動する。今、感動することはない、子どもたちにも夢と希望の与える。そういう形で進めていただきたい。</p>	<p>伊達博物館については、これまで説明会を7回開催し、丁寧に進めてきた。基本設計ができた後に、説明会を開催する予定であり、丁寧に説明していきたい。</p> <p>やすらぎの里についても、スタートしたばかりなので、どういふものになるか、まとまった段階で説明をしていきたい。</p> <p>歴史資料館は、バリアフリーを進めており、高島華宵さんの展示をしているが、より価値を高めるよう頭に置いておく。</p>	<p>(文化・スポーツ課) 新伊達博物館の基本設計ができましたら、市民説明会を開催する予定です。</p> <p>歴史資料館では、毎年高島華宵ロマン館の協力を得て、華宵の作品の展示を実施しています。</p> <p>その他にも毎年企画展を実施（令和3年度には市内公共施設で所蔵している浜田泰介氏の作品を展示）しており、また、様々なワークショップや撮影会など今後も市民の皆様が文化・芸術に触れ合う機会を設けることができるよう努めてまいります。</p>	文化・スポーツ課、商工観光課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
81	城北	8	伊達博物館の説明会に参加し、市職員が丁寧に説明していた。市も努力されていると思う。 移転することについて、反対派のアンケートを求められた。そのときに、女性から伊達博はレプリカばかりと聞いた。その人は伊達博に行ったことがあるのか。何も見ても本物ばかり。入場料の半分は伊達さん、将来は借金と言われたが、お金をかけても守らないといけない文化はある。3000も集まったが、皆さんちゃんと分かって署名をしたのか。	我々も丁寧に説明していきたい。その（署名を求める）ときに何があったかは承知していない。	新伊達博物館の改築に向けて、市民の皆様丁寧に丁寧な説明ができるように努めてまいります。	文化・スポーツ課、（総務課）
82	城北	9	安心を創るに医療のことがあるが、子どもの医療についてここにはあまりない。 早期発見、早期支援、医師看護師確保は分かるが、病院に行かなくてもいい、体作りに力を入れることは考えていないか。	医療費無料は中学生までにしてはいるが、普段から健康に目を向けてほしいので振り返るアプリなどを行っている。今後とも意識として盛り込めるようにしっかり検討していきたい。	乳幼児健診や小児生活習慣病予防健診の個別相談及び保育・教育機関と連携した出前講座で、保健師と管理栄養士が健康づくりの意識付けと体力向上のための指導を行っています。 また、教育機関と協働でアプリを活用し生活習慣の振り返りの定着やオンラインなどを利用し、広く市民へ情報発信を行っています。	保険健康課
83	城北	10	障がい者に優しい、情報提供体制があるが、災害時に聴覚障がい者の人の所在を聞き取ったが、市の人が知らなかった。定期的に調査をしていないか。	どのような体制かも一度確認し、何ができるかしっかり考えたい。	（福祉課） 災害時に自ら避難することが困難な者（避難行動要支援者）の避難支援や安否確認等を実施するための基礎資料として「避難行動要支援者名簿」を整備し、年2回（6月・12月）更新しています。 また、個人情報を開示することについて同意を得た名簿は、平常時から民生委員、宇和島地区広域事務組合消防本部、宇和島警察署と共有しています。	福祉課、危機管理課
84	城北	11	宇和島漁協の市場が移転したが、その後の稼働率などという状況か。 場所を考えると、前の場所ではできなかったか。	出荷量は都会の販売が難しい中、平時のものではない。 前の場所は引き波が強く、作業性が悪かったと聞いている。今の新しいところでどうするかを考えるべきと思う。	－	水産課
85	吉田	1	吉田統合小学校での潮止施設について、小学校が新しくできる場所より下流になる。ここまでは潮が来る考えてと思うが、小学校の場所に潮が流出することはないか。 高さは潮止施設に加え、土手の分が上がるのか。	専門的なことは熟知していないが、潮止施設が学校に流出することは県も想定していないと思う。宅地が増えている中、下流での流域面積を確保するためと聞いているので、これに対応が出来るものと思っている。 高さは、ガードレール程度の高さのコンクリートで全体の流域面積を確保すると聞いている。市としてもできることは協力していこうというのが今回の工事になる。	（教育総務課） 愛媛県が実施する河川改修工事は、浸水被害軽減に向けた河川整備計画として吉田中学校横に潮止め施設を整備するものです。 なお、吉田統合小学校建設地である吉田中学校グラウンド南側の津波浸水深は2m程度ですが、ピロティ下高さを3.2m、2階部分床面レベルを4.5m確保するなど災害対策にも考慮した建物建築を進める予定です。	教育総務課、建設課
86	吉田	2	吉田小学校跡地の利用をどう進めていくのか、スケジュールや案はあるか。	これから着工し、令和6年度から学校がスタートする中で、跡地問題は大きな課題になることは事実。担当にも跡地をどうするか話し合うように指示をしている。地元の意向もあると思う。地域によっては経済目的での貸し出しもあると思う。学校によっては活用の話もあるので、地元との話し合いをしていきたい。	（教育総務課） 令和6年4月開校に向けて、学校長やPTA会長、学校運営協議会長のほか多数の方で組織された統合準備協議会の中で、様々な項目について協議しています。 廃校後の跡地活用についても、開校準備と並行して取り組む必要があるため、令和4年6月下旬から地区単位で順次協議を進める予定です。	企画課、教育総務課
87	吉田	3	統合の進捗を〇〇通信などを発行して教えてもらえれば助かる。	子どもや保護者からすると統合は大きな変化と認識している。協議会もなかなか開催できず、保護者にも十分に情報提供ができていたのかとも思う。保護者に情報提供することを意識するように教育委員会にしっかり伝えていきたい。	以前に同様のご意見を受けて、市HP上に統合準備協議会での協議概要を掲載し、進捗状況の周知に努めておりますが、学校側と相談し、保護者に対する情報提供の方法を検討します。	教育総務課
88	吉田	4	準備協議会の案内はあったが、今までのことが分からず不安な状況。特色やコンセプトの話し合いはできているか、教師の配置、環境が変わる子どものフォローはどうか。	協議会にまだ話せていない段階で私も十分に確認できていないところがある。持ち帰って、なるべく早めに協議に臨める環境を創れるようにしたい。	令和2年の協議会発足以降、委員を継続されている方がおられる一方で、役員改選に伴い新しく就任される方もおられるため、これまでの経緯を説明するなど丁寧に議事進行に努めています。	教育総務課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
89	吉田	5	子どもに発達障害がある。保育園、小学校と娘を理解していただくよう市が出している足跡というノート、オレンジのリレーノートなどで情報を発信して6年になる。子どもの理解をしていただきたい思いから、療育センターにお願いして、保育園では支援会議を2回開催し、今月は小学校で同じようなことをした。保育園ではなかなか理解していただけず、迎えに行くまでにケガをしている状況があったり、データばかり持ってこられてもという、理解してもらえなく、悩む経験がある。現在は、楽しく小学校に通わせていただいている。お願いしたいのは、専門家の知識、スキルの重要性を理解して、教育の場で生かしていただきたい。新居浜市などでは専門家が教育の場で指導している。市も発達支援センターの建設を予定しているが、発達障がい者が就業できる事業所への理解などのお力添えをお願いする。	発達障害の子どもに対する保護者の心配は、かつてとは状況が違っていると認識している。現場での対応も十分だったか、申し訳ないところもあるが、支援員を増やしても予算措置は積極的に対応したいと教育委員会に伝えている。ただ、新居浜市や西条市の内容は確認できていないが、そのようにはできていないと思う。津島やすらぎの里であった発達障がい者のミーティングが1つのきっかけであるが、今後、発達支援センターを活用しながら、利用者、関係者の勇気につながるよう、既存窓口では対応をしていきたい。持ち帰って、新居浜、西条のようなことができるか検討したいと思う。	(学校教育課) 小・中学校では、全ての教職員の特別支援教育に対する専門性の向上を目指しています。現在、特別支援教育に対する校内研修の充実を目指しており、中心となって研修企画を行う特別支援教育コーディネーターへの働きかけを行っています。また、県の事業を利用することにより、専門家による現場指導を受けることも可能であるため、教育委員会から学校へ情報を積極的に提供してまいります。  (福祉課) 発達障がい児者への相談対応をしており、保護者の希望や必要に応じて、学校を含めた関係機関と支援会議を実施し、対象児の理解や支援方法の共有をしています。発達支援センター開設後も発達支援の中核相談機関として、関係機関と連携し、支援してまいります。 また、発達障がい者の就労については、障害就業・生活支援センター、ハローワーク等とも連携し、就労先への正しい理解を促す方法を検討してまいります。	教育総務課、 学校教育課、 福祉課、 こども家庭課
90	吉田	6	なぜ伊達発物館を建替えるか。 吉田秋祭りのお練りが国の指定になったと聞いた。しかし、担当の事務員が退職したと聞いたが、市の人事異動で何とかできないか。市から国の指定に手を上げさせたので、市が中心になって進めるようにしないとこのままでは国指定はできない。後任を早く決め、事務手続きを進めるようお願いする。	地域の歴史・文化の保存や、情報発信などの側面もあるが、何よりも耐震化されていないことにある。これまで学校施設など耐震化を進めてきたが、博物館も市の施設なので、建替えを進めなければならない。 職員の配置はしている。吉田支所が中心になるが、退職した職員も民間として関わっていくと言っている。文化庁にも話をしているが、コロナで秋祭りの規模が縮小していれば、認定までの期限が伸びるかもしれないと言われた。実行委員会とも話し合っていないかと思う。	吉田秋祭りは、現在は県指定となっており、国指定については審査待ちの状態です。文化庁の現地調査、視察後の審議会での審査を経て、指定となります。祭礼行事の実施が前提となりますが、できるだけ早々に現地調査いただくよう、依頼している状況です。	文化・スポーツ課
91	吉田	7	伊達博物館は現在地での建替えが可能と考えている。天赦公園は災害時の避難場所として公園として残す必要がある。災害時には多目的広場が救護基地になる可能性もある。建設を急ぐあまり、宇和島市民の命をあまりにも軽視していると考え。宇和島市は危機管理の意識があまりにも脆弱と思う。天赦公園を消滅させると代替地はない。伊達博物館と宇和島市民の命をどう考えるか。 公園がほとんどなくなると私たちは調査している。吉田小学校、中学校も軟弱地盤であり、これにかかる費用も全部税金になる。基本設計後とあったが、基本設計は軟弱地盤の調査後になるはず。	前市長と当時の教育委員会の事務方が、天赦公園に伊達博物館を建てる方針というものを議会に示されています。そして、私が市長に就任した後に、これからどうなっていくのか、そのお話にそのまま乗るのではなくて、改めて建替委員会を発足し、民間の方々のご意見をいただきながら、やはりそれでもあの遊具がある場所が適当であるという判断の中で、決定した。公園が無くなることを乱暴に言うど計画全体が見えないと思う。確かに遊具は無くなるが、ほとんどが公園として使え、現在の博物館は公園となる計画としている。よく公園が無くなるという意見は聞かれますが、公園が無くなる訳ではないことは知ってほしい。 (軟弱地盤と言われる中、学校は)どこに建てましょう。この地域の子どもたちを守るためにしている。地域のこれまでの議論の積み上げをなくしてしまうので、そのような発言はお気をつけいただきたい。また、公園の面積は減るわけでないことをご理解いただきたい。 今日は吉田の地域のことを話したい。	児童公園は、新博物館の工事期間中は、天赦公園東側に移設し、新博物館完成後は現博物館敷地に児童公園を新設する計画です。	文化・スポーツ課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
92	吉田	8	全体的に小学校の統合などを聞いたが、行政の中で地域の理解が進められずにされていると感じる。伊達博物館も行政の内部で議論が進み、進行状況が分からない。基本設計ができる前に行政で話をしているのか。3,161名の署名についても、市議会も認識し、しっかりと判断していただきたい。 丸山公園には桜の標本木などもある。桜まつりとして市が取り組んでほしい。丸山公園一体を自然の背景を使って、公園を整備して、憩いの場を考える必要があると思う。 チームを創るは、市長公室がしていると思うが、何をすることも、400年の文化が基本にないと本質的な宇和島市の発展はないという考えを持っている。	丸山公園の桜は標本木ではなくなっていて、市が独自の開花宣言をしている。実際に丸山公園には桜が多いところであるので、参考にさせていただきたい。吉田地区にも川沿いなど見事な桜が咲いているので、こういったものにも市として何ができるか考えていきたい。 チームうわじまは一体となって街づくりをしていく考え。文化・歴史も頭に入れ、役場が主導ではないが、きっかけ作りはしていくのでそういった意識でやっていきたい。		都市整備課、 商工観光課、 市民課
93	吉田	9	桜については、天赦公園に25本植えられている。どういう形で移転するか考えていくと思うが、伊達400年祭のときに我々が中心になって桜(神代曙)を植えている。市民の好意を受け止め、どこに行くのか。寄附者はどうなるか心配している。工事をすまにあたって考えていただきたい。	あの桜は伊達400年祭の時のものと聞いている。丁寧に対応したい。		都市整備課、 企画課
94	吉田	10	地域に犬尾城という山がある。土砂崩れがあったが、国と県が管理しているとありなかなか進まない。	言われている意味はよく分かる。工事については予算付けがあり、国のものを市ができないが、緊急性のあるものは別であるが、一度にまとめてできる方がいいので、そういう意識で担当課で検討できればと思う。		建設課
95	吉田	11	吉田小学校は耐震工事をしている。体育館も広く、豪雨災害時は臨時の避難所として活用した。統合後も解体せずに話し合いの場や避難所として残してほしい。	小学校は地域の避難所としては活用するので、取り壊す予定はない。活用方法については、今後の協議会で話されると思う。	現時点で、吉田小学校の体育館を解体する予定はなく、避難所としての機能も継続する見通しです。	教育総務課
96	吉田	12	お練りの話があったが、私の地区は牛鬼を3年に1回当番で回るようになっていて、牛鬼を毎回作っている。高齢者に教えてもらいながら作っているが、このままやれるかが正直なところ。文化財に指定できれば続けなければならない。なめず技術の伝承が廃れ、地域に入がいなくなる状況で簡単に国指定にしていいかと思っている。鶴間地区は初めて台車を付けた地区になる。お練りの指定については私たちのところまで話がないので心配している。	牛鬼の方々がどう考えているかは私もこれまで知らなかった。どのように残していくのか、地区に任せるのではなく、吉田で残すなどの議論をする時期が来ていると思う。その際にはご発言をいただければと思う。	牛鬼は、浅川・鶴間・元町の3地区の旧立間尻村で運行されています。平成29年以降はこの3地区の自治会長(牛鬼保存会会長)を交えて、他の練り継承団体責任者などで組織する『吉田秋祭保存団体協議会』にて情報共有を行っています。事務局では、3地区合同運行も選択肢の一つとして考えていますが、地区の方々のご意見も聞きながら協議してまいります。	文化・スポーツ課
97	吉田	13	ボランティアでしている県道沿いの草刈りの管理は市がしている聞いた。立間駅近くのガードレール付近は小中学校の通学路のため地元でボランティアでの草刈りをしているが、高齢になりなかなか厳しい状況になっているので、コンクリで草が生えないようにしてほしい。 伊達博物館に関しては、個人としては観光客を誘致するためにいい物件と思っている。人の流れを中心から周辺に持っていくにもいいと思う。吉田には図書館、津島にはやすらぎの里がある。看板を伊達博物館として中身を入れる、こういった発想の転換はできないか。それとも、市長は中心に人を集めることが大事と考えているか。	草刈りのみならず、様々なことを地域にお願いしているが、道路がどのようなところか分かっていないので、担当に確認をする。 伊達博物館から吉田、三間、津島という流れは考えているので、お練りや岩松町並みなどの地域の特色を残し、誘客ができればと思う。旧市内だけがとは考えていない。誘客に努めていきたい。	(建設課) ご要望の箇所は、市の管理道路になりますが、ご存知の通り市管理道路は延長が長く予算も限られていることから、優先順位を考慮しながら維持管理を行っており、草刈りについては地元をお願いしているところです。しかしながら、平成30年7月豪雨時に市道脇に土砂が堆積したままになっているとのことですので、今回土砂の撤去を行いたいと思います。なお、雑草対策として地元での施工が可能であれば材料支給はできますのでご相談ください。これからも地元のご協力をお願いします。  (文化・スポーツ課) 新博物館内には、旧宇和島城下にとどまらず吉田、三間、津島も含めた宇和島圏域全体の歴史文化を紹介し、宇和島や伊達家と親和性のあるテーマを中心とした幅広い利用を可能とし、宇和島圏域全体の文化芸術のプラットフォームとなるべく博物館を目指しています。	建設課、文化・スポーツ課、 商工観光課
98	吉田	14	牛鬼は毎回つづすのではなく、保管できる場所、お練り博物館ではないが、一堂に会する施設の建設はできないか。 国安の郷までは遠いので、街中にも人があつまる施設を吉田町にも作ってほしい。	お練りは重要であると認識している。伊達博物館は耐震性がないから建替えを進めているが、国安の郷は耐震化もできており、平成7年の建物でしっかりしたものなので、その活用も考えている。まずはお練りの国指定の認定をと思っている。	牛鬼の組み立てを毎年行う所は市内でも珍しく、技術の継承という点でも作業自体に価値があると考えます。大変かと思うが、できる限り現在の形を継承していただきたいと思っています。	文化・スポーツ課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
99	吉田	15	草刈りの件について、以前に排水溝の清掃をしたときに、役所から袋に詰めれば持って帰るとあったが、詰めることも難しく、担当課が袋に詰めて持って帰ることがあった。そのまま軽トラに積みれば手間がかからない。色んな理由で袋に詰めると思うが、もったいないと感じた。もう少し楽な方法で処理ができればと思う。	場所や面積で判断することもあると思うので、作業前に支所に相談いただくことも選択肢だと思う。持ち帰って方法を検討したい。	回収したごみは、環境センターへ搬入することとなりますので、袋詰めされていないごみを置かれてしまうと、トラックへの積み込み作業や焼却ピットへの投入作業が困難になることや、運搬中に荷台から飛散する恐れがあることなどの理由から、原則として袋詰めしていただくようお願いしているものです。 また、専用袋に入れていただくことにより、ボランティア清掃で集めていただいたごみであることを判別する目印ともなっておりますので、ご理解とご協力をお願いします。	生活環境課
100	吉田	16	(地域に関する発言でないため削除)	—	—	—
101	吉田	17	豪雨災害からかなりの年数が経過した。被害の小さいところの復旧や、市が管理している河川、水路はそのまま。私の畑もそのような状態。市の担当からは今年度が災害対応の最終年度となっており、今していないところは対象外と聞いている。災害後に農林課と申請を上げ、条件的に対象外になったが、こちらには情報が入っていない。南予用水施設や河川をまたいでいるところもある。同じような雨が来ないとは限らない、今の状態のままでいいのかと思う。柑橘は植えてから収穫まで大変な時間がかかる。被害の大きいところは視察していると思うが、小さいところもあるので、改めて確認して安心して生活できるようにしてほしい。	農地、農業用施設の工事完了率は54%と道半ばと思っている。なるべく早めにとっているが、業者がどうすればしやすいのか引き続き考えたい。私も全てではないが被害の小さいところも見ているので、これからも取り組んでいきたい。	—	農林課、建設課
102	吉田	18	タウンミーティングに4回参加した。各地域の市議が何名か来ているが、市議会議員の声をどの会場でも聞けない。	他の地区では人数少ないところ、議員が問題提起をしたこともある。言いたいことはあると思うが、市民の声を聴き、議員活動に活かせるように考えていると思う。吉田については、地元議員から事前に相談があり、統合小学校のことなどを追加して話した。いろいろ地域のことを考えてされているので、そこはしっかりご理解いただきたい。	—	市長公室
103	Zoom	1	もともとは飲食業をしていた。市長や市役所が、本当に足下を確認できているかを聞きたい。シティブランディングはいい言葉だが、モノを売るときに価値観がマイナスになってしまうことが多い。以前、宇和島のブリがYouTubeで流れた際の画像を見ると、たぶん関東の人間、本当の業者は買わない。 2つ目は総合的な窓口がほしいのが実情。6つの柱は仕分けするという表現があったが、端的に分けていいものではない。バックグラウンドに複雑に絡み合った問題点があると思っている。横の連携をしっかりと動ける組織にしていけることが必要と強く感じている。	足下の確認をしたほうがいいのではないかという点について、ブリの写真は十分に認識してないところなので十分にお答えできないところ。この地域が養殖が盛んだから買ってほしいでは難しい状況だと思っている。私も長く水産業にいたし、現在も現場に行って様々な声を聞いているところだが、飲食業など相手先のことまで考えられてないのが現状。商流の中のハブとなる方にも意見聴取をしながら進めていかなければならぬだろうと認識した。EC (Electronic Commerce)、BtoB (Business to Business) で直接チャンネルをもっている方々がいらっしゃるので確認していきたい。 2番目の総合的な窓口について、6つの創はご理解いただきやすいように、仕分けて整理したが、縦割りを受け止められるのかと感じた。実際に役所の仕事で縦割りなどところもあるが、特に福祉の分野は1本化した窓口があるのも事実。体系的に6つの創の話はさせていただいたが、タウンミーティングは市長公室が中心となっているようにハブのような動きをしながら解決していきたい。	—	市長公室 (シティセールス)
104	Zoom	2	観光産業の武器、もう一度足下の再確認が必要。合併後の民間の宿泊施設は、場所によって有効な観光資源はあるが武器化されていない。短所をいかに長所に変えていくか、地元の人が気づいてない行政サイドが気づいてないところもある。一概にECでものを売っていいのか、本当の意味でシティブランディングは継続していかないと意味がないと思っている。	机上で考えることと現場がどうなっているのかをしっかりと認識していくことは必要。そこで何が起きているのかも含めて情報提供いただければ。あらゆる現場において足下の確認、努力を重ねていきたい。	—	市長公室 (シティセールス)、商工観光課

令和4年度市民と市長のタウンミーティングでの意見交換の概要

通し	地区	番号	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
105	Zoom	3	<p>感覚的に旧宇和島市が旧3町・鬼北・愛南からどのくらい必要とされているか。1980年ごろに宇和島市に帰ってきて、翌年に新しい店ができ、人がわんさか集まった。はたしてそうした魅力はなんなのか。自分たちが30代40代のときの宇和島は、そこに行けば何かある、1つのつながりを持ってそうな魅力が当時はあった。いまは宇和島に行けば何かがあるという魅力がない。6つの創の中で「人」と「まち」があるが、教育的な発想で人間力をつくるのではなく、失敗も含めて経験を認める人間力を認知していくことが必要。きちっとしてない緩やかな遊びがある社会を作ってほしい。</p> <p>少子化の問題で、先ほどの資料から、17年間で2万2千人減った。2040年ごろに5万ということはここから2万減る。この17年間でなぜ減ったのかきちっと分析が必要。経験からどういう対策をするのか、国におんぶに抱っこではなく独自に政策を考えていく必要があると考える。</p>	<p>新しくできたお店は年末お盆は一切入ることができないほど盛況であったが、最近は利用する人が少なくなっていると感じている。圏域において行政同士の発想・感覚になるが、宇和島市・鬼北・松野・愛南それぞれが今後単体では難しいということは宇和島圏域でまとまってということはあるが、明確な目的をもって宇和島市にすることはあっても偶発的な何かを求めてということはないと痛感。魅力を取り戻すことは永遠の課題だと認識していく中で、多くの人にこの地域に興味を持ち、実際に暮らしていただくまちづくりをしなければならぬ、そういった意味で書かさせてもらっている。</p> <p>少子化については、1年間で約1200名ずつ減っている。6割が亡くなられている方、残りの4割は進学・就職で市外へ。一番は住むだけの魅力がない、また、働く場所がない。求人はあるが魅力ある求人ではない。高校生・大学生等と連絡を取り合える機会があり、意見を聞くこともあった。独自アイデアをしっかりと考えていかなければならない。6つの創のブラッシュアップしていきたい。</p>		企画課
106	Zoom	4	<p>「まちを創る」での地域交流拠点、具体的にどのようなことをしているのか教えてほしい。</p>	<p>福祉関係の事業で、すべてのことを我がこととして捉えながら地域の人々を支える厚労省の事業。旧みま幼稚園の跡地に「もみの木」と九島の旧診療所の跡地に「島の保健室」という名前で岐阜県からの看護師が移住して、地域の高齢者との交流の場所として様々な事業をしている。「もみの木」は、豪雨災害の前で設立され、豪雨災害のときには拠点となって地域の高齢者へ水を運んだ。文字通り地域生活の拠点・助けとなった。</p> <p>吉田地域ではボランティアの方が活動したり、NPOの中間支援として活動している方がいらっしゃる一方で、こうした拠点がまだできていなかった。吉田ではどの団体がやるのか、いま調整しているところ。今後もどのような形になるのか情報発信していくので、ぜひご参加いただければと思う。</p>	<p>地域交流拠点では、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決できる環境の整備や、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制を整備します。</p> <p>具体的には、互助を中心とした地域づくりを住民主体で進めるために、助け合い活動をともに創出し、充実させていく組織である協議体を結成し、地域交流食堂の開催、手作り弁当の配食、元気な高齢者が担い手として活動する場の確保、ボランティアによる生活支援（ゴミ出し等）など、地域資源を創出したり、サービス提供主体、地域の諸団体、居宅介護支援・介護サービス事業所間と情報共有を図り、地域ニーズと地域資源等とのマッチングを行っています。</p>	高齢者福祉課
107	Zoom	5	<p>宇和島圏域構想の話があったが、絵にかいた餅、ちゃんとした実現ができてないと体感。関東圏の話をする、東京に産業が多い、そうすると埼玉はベットタウンで活用できる。それなら、旧宇和島市に本当の意味で盛り上がりできると共栄共存が可能になると思う。宇和島市と宿毛市、交通の便が悪い。点より面でいろんなことを伝えていく、活用していく。長所短所を掘り下げていく。地域おこし協力隊は、他市町との連携は厳しい制限がかけられている。行政間の話し合いをもう一度掘り下げていただきたい。</p>	<p>実際、計画をみても理想が過ぎるなどということもあるが、弾力的にできることは、民間からのご意見があればやりやすいこともある。ふわっとした計画でもともと動きにくいこともある。地域がバラバラに動くのではなく利点に対してアプローチを積極的にしていく。協力隊は他市町との連携は難しい。創るものがそういうことになっているのはミスマッチ。この部分に関しては、圏域で何かをなすということに関して今一度目を向けていきたい。</p>		企画課